原子力発電所環境放射能測定結果(平成27年度第2四半期)について

平成27年12月8日 福島県放射線監視室

福島県が平成27年度第2四半期(平成27年7月~9月)に実施した原子力発電所 周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりです。東京電力(株)福島第一原子力発電 所の事故による影響を受けた空間線量率や環境試料については、一部を除いて事故前の 測定値の範囲を上回っていますが、日数の経過とともに減少する傾向にありました。

1 空間放射線(P1~2、P13~19)

(1)空間線量率

36地点で空間線量率を常時測定しました。

各測定地点の月間平均値の範囲は $0.055~\mu$ Gy/h(いわき市小川)~ $13.793~\mu$ Gy/h(大熊町夫沢)、最大値の範囲は $0.065~\mu$ Gy/h(いわき市小川)~ $14.295~\mu$ Gy/h(大熊町夫沢)であり、月間平均値及び月間最大値が事故前の測定値の範囲を上回っていますが、全体として日数の経過とともに減少する傾向にありました。

※Gy (グレイ) ≒Sv (シーベルト)

(2)空間積算線量

64地点で蛍光ガラス線量計による空間積算線量の測定を実施しました。

各地点の90日換算値は、0.18 mGy (南相馬市萱浜) ~35 mGy (大熊町夫沢) であり、事故前の測定値の範囲を上回りましたが、期の経過とともに減少する傾向にありました。

2 環境試料(P2~5、P20~36)

(1) 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

1 4 地点で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。

各測定地点の月間平均値は、全アルファ放射能が $0.006~Bq/m^3$ (大熊町大野、双葉町郡山) $\sim 0.065~Bq/m^3$ (浪江町大柿ダム、葛尾村夏湯)、全ベータ放射能が $0.022~Bq/m^3$ (双葉町郡山) $\sim 0.10~Bq/m^3$ (大熊町夫沢)であり、ともに事故前の測定値と同程度でした。

また、最大値は全アルファ放射能が 0.025 Bq/m^3 (双葉町郡山) $\sim 0.31 \text{ Bq/m}^3$ (浪江町大柿ダム、葛尾村夏湯)、全ベータ放射能が 0.049 Bq/m^3 (双葉町郡山) $\sim 0.37 \text{ Bq/m}^3$ (葛尾村夏湯)であり、ともに事故前の最大値を下回りました。

(2) 核種濃度 (ガンマ線放出核種)

大気浮遊じん、降下物、上水、海水、海底沈積物、松葉の6品目で合計342試料について、核種濃度の調査を実施しました。

上水を除く5品目の92試料からセシウム-134が、全6品目の185試料からセシウム-137が検出され、事故前の測定値の範囲を上回りましたが、概ね横ばいか減少傾向にあります。

(3) 核種濃度(ベータ線放出核種)

上水11試料、海水20試料についてトリチウムの調査を実施しました。

このうち、上水5試料、海水5試料からトリチウムが検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

海水18試料、海底沈積物6試料についてストロンチウム-90の調査を実施しました。

これら全ての試料からストロンチウム-90が検出されており、事故の影響が残っているものと考えられます。また、多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回っており、概ね横ばい傾向にあります。

(4) 核種濃度(アルファ線放出核種)

海水18試料、海底沈積物6試料についてプルトニウムの調査を実施しました。 海水1試料からプルトニウム-239+240が検出されましたが、事故前の測定値の範 囲内でした。海底沈積物については、現在測定中です。 (案)

原子力発電所周辺環境放射能測定結果

(平成27年度 第2四半期)

福島県

目 次

測定	結果	\mathcal{O}	概要	Ĺ																												
1	空	間	放射	線																												
	(1)	空間]線量	計率	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
	(2)	空間]積算	氯線	量	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		2
2	璟	境	試料	<u> </u> -																												
	(1)	大気	泛沙边	をじ	λ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		2
	(2)	環境	試米	半の	核	種	濃	度	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		3
測定	結果	=																														
	1		定項						•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		7
	2		定力																								•	•	•	•		8
	3]定結																													
	(1)	空間	放身	寸線	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	3
	(2)	環境	試米	¥ •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	O
	4	比	較玄	照出	也点	0	測	定	結	果																						
	(1)	空間]線量	計率	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3	7
	(2)	環境	試米	¥ •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3	8
	試彩	·採	取時	iの作	才帯	デ	_	タ	集																						4	2
	環境	擂	料放	付射		定	方	法	詳	細	_	覧	表		•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•			•		4	3

必要に応じて、福島県原子力安全対策課のホームページに掲載している原子力 用語集をご活用下さい。

OURL

 $\label{lem:prop_portal} $$ $$ http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004\&CONTENTS_ID=33709$

○または、

福島県原子力安全対策課トップページ → 参考資料 → 原子力用語集

平成27年度第2四半期(平成27年7月~9月)の測定結果の概要

1 空間放射線

(1)空間線量率

36地点で空間線量率を常時測定しました。各地点の測定結果は以下のとおりです。 詳細な測定値は13~15ページを参照。

ア 月間平均値

各測定地点における月間平均値は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故 (以下「事故」という)の影響により、依然として事故前の月間平均値を上回ってい ますが、全体として日数の経過とともに減少する傾向にありました。

空間線量率の月間平均値

(単位:nGy/h)

,	加宁地上	今	期間の月間平均	値	過去の測定値(*1)			
1.	測定地点	7月	8月	9月	事故後	事故前		
	36	55~13, 793	56~13,626	56~12, 943	54~176,000	33~54		

(注)*1 「過去の測定値」の範囲は、

事故前:平成13年度から平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。ただし、測定地点を変更 した双葉町郡山、富岡町上郡山、楢葉町繁岡はそれぞれ平成16年度、21年度、22年度から

の範囲。

事故後:平成22年度第4四半期(平成23年3月11日)から平成27年度第1四半期まで。

イ 1時間値の変動状況

空間線量率の1時間値は、降雨によりおよそ300nGy/h以下の低線量地域では一時的に上昇し、およそ300nGy/hを超える高線量地域では一時的に低下するという変動が見られます。

空間線量率の最大値(1時間値)(*1)

(単位:nGy/h)

	Δ	期間の月間最大	店	過去の測定値(*2)			
測定地点	7	別則 ツカ 則取 八		<u> </u>			
MACABIM	7月	8月	9月	事故後	事故前		
36	66~14, 290	73~14, 295	65~13, 420	67~1,591,000	85~157		

⁽注) *1 最大値が、最小の測定地点~最大の測定地点の値を示している。

^{*2 「}過去の測定値」の範囲は、上記月間平均値に記載した(注)*1に同じ。

(2)空間積算線量

64地点で蛍光ガラス線量計(RPLD)により空気中の放射線量を測定しました。詳細な測定値は16~19ページを参照。

90日換算値は、事故の影響により事故前の測定値の範囲を上回っていますが、期の経過とともに減少する傾向にありました。

空間積算線量の90日換算値

(mGy/90日)

測定地点	積算線量 (平成27年7月16日~	前回の測定値(*1) (平成27年4月16日~	過去の測定値(*2)			
例足坦思	平成27年10月15日)	平成27年4月16日)	事故後	事故前		
64	0. 18~35	0.18~36	0.17~137.79	0.10~0.14		

(注) *1 平成27年度第1四半期の値。

*2「過去の測定値」の範囲は、

事故前:事故前から測定していた20地点における平成15年度第1四半期から平成22年度第3四半期

までの値。

事故後:平成22年度第4四半期から平成27年度第1四半期までの値。

地点数の経過:平成22年度第4四半期から平成23年度 15地点

平成24年度 17地点 平成25年度第1四半期 20地点 平成25年度第2四半期 35地点

平成25年度第3四半期 64地点(うち17地点は期間途中での設置)

2 環境試料

(1) 大気浮遊じん

14地点で大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。詳細な測定値は20~21ページを参照。

ア 月間平均値

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、いずれも事故前の月間平均値と同程度でした。

大気浮遊じんの月間平均値

(単位: Bq/m³)

	測定		月間平均値		過去の測定値(*1)			
項目	地点	7月	8月	9月	事故後	事故前		
全 ア ル フ ァ 放 射 能	1.4	0.012~ 0.065	0.009~ 0.050	0.006~ 0.033	0.004~0.088	0.007~0.076		
全 ベ ー タ 放 射 能	14	0.036~ 0.10	0.030~ 0.10	0.022~ 0.098	0.017~2.0	0.018~0.12		

(注) *1 「過去の測定値」の範囲は、

事故前:事故前から測定している5地点(楢葉町繁岡、富岡町富岡、大熊町大野、大熊町夫沢、 双葉町郡山)における機器変更後の平成13年9月から平成23年3月10日まで。

事故後:平成22年度第4四半期(平成23年3月11日)から平成27年度第1四半期まで。

ただし、楢葉町繁岡、富岡町富岡、大熊町大野の3地点は平成23年度第1四半期から、双葉町郡山は平成23年度第2四半期から、大熊町夫沢と平成26年度に追加した8地点は平成26年度第1四半期から、浪江町幾世橋は平成27年度第1四半期から開始。

イ 変動状況

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値は、事故前の最大値を下回りました。 なお、各地点の最大値の出現は、参考資料の全アルファ・全ベータ放射能の相関図に 示したとおり良い相関が見られたことから、自然放射能レベルの変動によるものと考え られます。

大気浮遊じんの最大値

(単位: Bq/m³)

西日	測定		最大値		過去の最	大値(*1)
項目	地点	7月	8月	9月	事故後	事故前
全 ア ル フ ァ 放 射 能	1.4	0.048~ 0.31	0.057∼ 0.31	0.025~ 0.14	0.35	0. 58
全 ベ ー タ 放 射 能	14	0.10~ 0.37	0.082~ 0.35	0.049~ 0.19	52	0.78

⁽注)*1 「過去の最大値」の範囲は、上記月間平均値に記載した(注)*1に同じ。

(2) 環境試料の核種濃度

ア ガンマ線放出核種

今期間に測定した環境試料は、大気浮遊じんが36地点237試料、降下物が17地点51試料、上水が11地点11試料、海水が8地点20試料、海底沈積物が8地点8試料、松葉が15地点15試料の6品目で合計342試料でした。詳細な測定値は22~36ページを参照。

上水を除く5品目の92試料からセシウム-134が、全6品目の185試料からセシウム-137が検出され、事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、概ね横ばいか減少傾向にあります。

環境試料の	ガンマ	線放出	H核種濃度
シボンデル はんパイ マン	// / \	カタベ カメコ	

⇒4-₩[力	試料数	ガンマ線 放出核種	単位	測定値	過去の測	定値(*1)
試料名	数	放出核種	里 亚	例是他	事故後	事故前
大気 浮遊じん	69	セシウム-134		$ND \sim 0.77$	N D ∼1, 100	ND
子姓しん	09	セシウム-137	mBq/m³	N D ~2.9	N D ~ 990	ND
大気 浮遊じん (強化*2)	168	セシウム-134	шоч/ ш	N D ∼0. 083	N D ~0. 14 (*2)	_
(7虫1七个乙)		セシウム-137		N D ∼0. 36	N D ~0. 46 (*2)	_
降下物	51	セシウム-134	$\mathrm{MBq/km^2}$	N D∼81	N D ∼ 5, 000, 000	ND
件 1 初	51	セシウム-137	MDQ/ KIII	N D∼340	N D ∼ 5, 600, 000	N D ∼0. 15
		セシウム-134	Bq/kg湿	Ι	10~ 230,000	ND
陸土	_	セシウム-137	DQ/ KgAlk		32~ 310,000	N D∼16
		コバルト-60			N D ∼1.9	ND
上水	11	セシウム-134	$\mathrm{Bq}/\mathrm{\ell}$	ND	$ND \sim 0.17$	ND
上小	(*3)	セシウム-137	υч/ ν	N D ~0.11	N D ∼0. 29	ND
海水	20	セシウム-134	$\mathrm{Bq}/\mathrm{\ell}$	N D ∼0. 22	N D ~2. 4	ND
一样小	20	セシウム-137	bq/ &	N D ∼1.0	N D ∼5.0	N D ~0. 003

試料名	試料数	ガンマ線放出核種	単位	測定値	過去の測定値(*1)			
政作石	数	放出核種	半业	例足順	事故後	事故前		
		セシウム-134		10~140	7.6~450	ND		
海底 沈積物	0	セシウム-137	D -: /1 古仁	41~580	28~970	$ND \sim 0.97$		
	8	マンガン-54	Bq/kg乾	ND	N D ~1. 3	ND		
		コバルト-60		ND	N D ~1.1	ND		
扒奔	1.5	セシウム-134	D /1 /-	N D∼1, 000	N D ~ 210, 000	ND		
松葉	15	セシウム-137	Bq/kg生	N D ∼4, 200	N D ∼ 230, 000	N D ~1. 2		

(注)*1 「過去の測定値」の範囲は、

事故前:平成13年度から平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。

事故後:平成22年度第4四半期(平成23年3月11日)から平成27年度第1四半期まで。

- *2 大気モニタリングの強化として、毎週調査を実施した。「過去の測定値」の事故後の範囲は平成 27年度第1四半期の測定値の範囲。
- *3 事故前の採取地点である富岡町役場が水道未復旧であり、代替地点として配水系が異なる富岡南配水池で採取したため、測定値については参考値扱いとする。

イ ベータ線放出核種

上水11地点11試料、海水8地点20試料の合計31試料について、トリチウムの調査を実施しました。詳細な測定値は34~35ページを参照。

このうち、上水5地点5試料、海水5地点5試料からトリチウムが検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

海水6地点18試料、海底沈積物6地点6試料について、ストロンチウム-90の調査を実施しました。詳細な測定値は35ページを参照。

これら全ての試料からストロンチウム-90が検出されており、事故の影響が残っている ものと考えられます。また、多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回っており、概ね横 ばい傾向にあります。

環境試料中のベータ線放出核種濃度

⇒4×1 々	⇒4-1/2-1/2-1/2-1/2-1/2-1/2-1/2-1/2-1/2-1/2	ベータ線 放出核種	単位	测学体	過去の測定値(*1)			
試料名	試料数	双山核性	早 业	測定値	事故後	事故前		
陸土	_	ストロンチウム-90	Bq/kg乾		N D∼81	N D ~3.5		
上水	11(*2)	トリチウム	Bq/ℓ	$ND \sim 0.55$	$ND \sim 0.96$	N D ∼1. 2		
上八	_	ストロンチウム-90	Bq/ℓ		$ND \sim 0.002$	0.001~0.002		
海水	20	トリチウム	Bq/ℓ	N D ~2. 6	N D ∼6. 2	N D ~2.9		
一一一	18	ストロンチウム-90	Bq/ℓ	0.001~0.76	0.001~2.9	$ND \sim 0.002$		
海底 沈積物	6	ストロンチウム-90	Bq/kg乾	0.24~1.3	N D ~1. 2	ND		

(注) *1 「過去の測定値」の範囲は、

事故前:平成13年度から平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。

事故後:平成22年度第4四半期(平成23年3月11日)から平成27年度第1四半期まで。

*2 事故前の採取地点である富岡町役場が水道未復旧であり、代替地点として配水系が異なる富岡南配水池で採取したため、測定値については参考値扱いとする。

ウ アルファ線放出核種

今期間に採取した環境試料は、海水が6地点18試料、海底沈積物が6地点6試料でした。 詳細な測定値は35ページを参照。

海水1試料からプルトニウム-239+240が検出されましたが、事故前の測定値の範囲内で した。海底沈積物については、現在測定中です。

環境試料中のアルファ線放出核種濃度

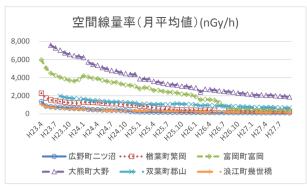
三十年 夕	試料数	マルフュ始	単位	測定値	過去の測	定値(*1)
試料名	武杆致	アルファ線 放出核種	平14.	例足個	事故後	事故前
		プルトニウム-238			N D ∼0.05	N D ∼0.03
陸土	_	プルトニウム-239 +240	Bq/kg乾	1	N D ∼1. 4	N D ~0.44
		アメリシウム-241			N D \sim 0.25	_
		キュリウム-244			ND	_
上水		プルトニウム-238			ND	_
上水		プルトニウム-239 +240	mBq/Q	_	ND	ND
海水	10	プルトニウム-238	mD = /0	ND	ND	_
海水	18	プルトニウム-239 +240	mBq∕0	N D ~0.006	N D ~0. 020	N D ~0. 013
海底	6	プルトニウム-238	D a /1- a 盐	測定中	N D ~0.020	_
海底 沈積物	0	プルトニウム-239 +240	Bq/kg乾	測定中	0.08~0.52	0.15~0.61

(注)*1 「過去の測定値」の範囲は、

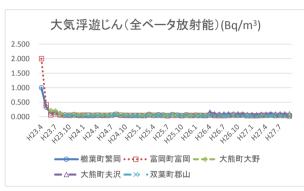
事故前:平成13年度から平成22年度第4四半期(平成23年3月10日)まで。

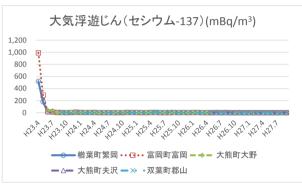
事故後:平成22年度第4四半期(平成23年3月11日)から平成27年度第1四半期まで。

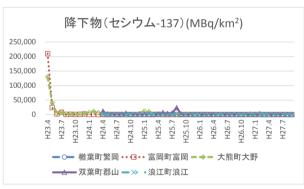
事故後の各項目毎のトレンドグラフ





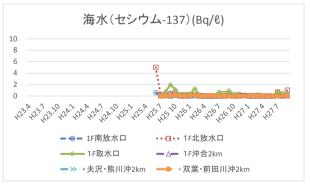


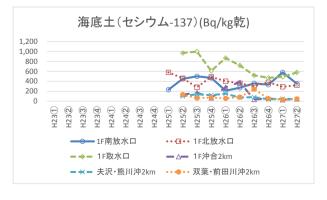


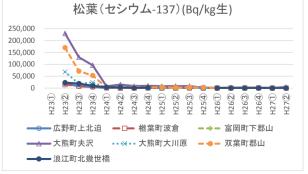












平成27年度第2四半期 測定分

平成27年7月~ 平成27年9月

1 測定項目

(1)空間放射線

項目	地点数	測定頻度	実 施 機 関
空 間 線 量 率	36	連続	原子力センター
空 間 積 算 線 量	64	3ヵ月 積 算	原士刀ピング

(2)環境試料

X	三 分		3 J	1 料	Þ	地点数	採取頻度	採取回数		測	定試	料数	女 (今其	男)		実施機関
	7 21		Βı	\ 17	70	地点数	1水以頻及	(今期)	全β	γ	^{131}I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm	天
						14	毎月	3	連続 全α全β	42						
大		気	大多	気浮边	をじん	9	14/1	3		27						
						13	毎週	13		168						
降	下	物	降	下	物	17	毎月	3		51						
陸		+	表		土	15	年2回	0		0						
圧			10			10	年1回	0					0	0	0	
陸		水	L		水	11	年4回	1		11		11				原子力センター
座		//\	4		八	11	年1回	0					0	0		Sr,Pu,Am,Cm は原子力セン
						6(*1)	毎月	3	18	18		18	18	18		ター福島支所
海		水	海		水	2(*2)	年4回	1	2	2		2				
						2 (42)	年1回	0					0	0		
						6(*1)	年4回	1		6			6	6		
海底	法沈 積	物	海瓜	ミ 沈	積 物	2(*2)	年4回	1		2						
						2 (~2)	年1回	0					0	0		
指 柞	標植	物	松		葉	15	年4回	1		15	15					

^{*1} 東京電力(株)福島第一原子力発電所周辺海域

(3)測定項目(比較対照地点調査)

ア 空間放射線

項目	地点数	測定頻度	実 施 機 関		
空間線量率	3	連続	原子力センター		

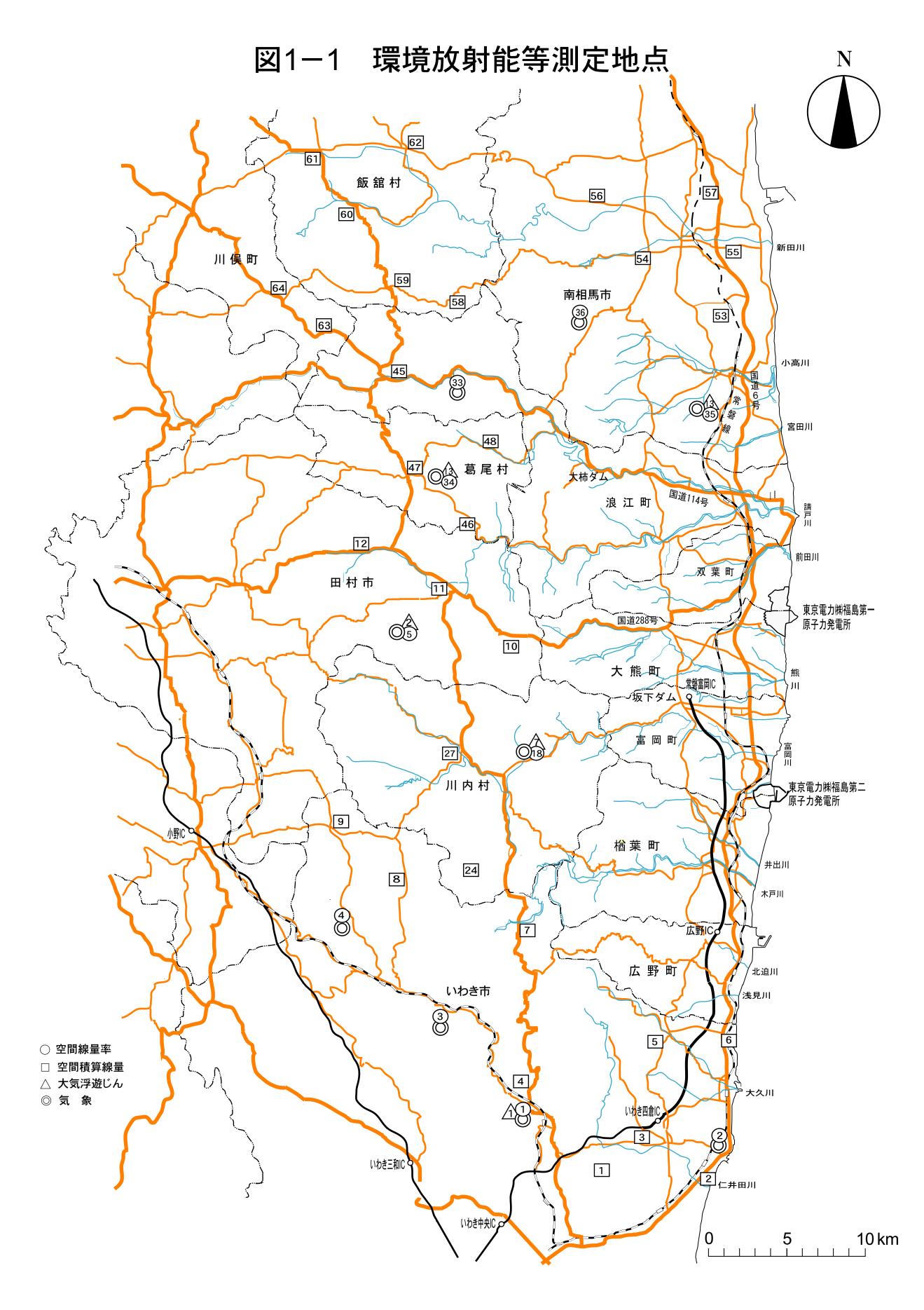
イ 環境試料

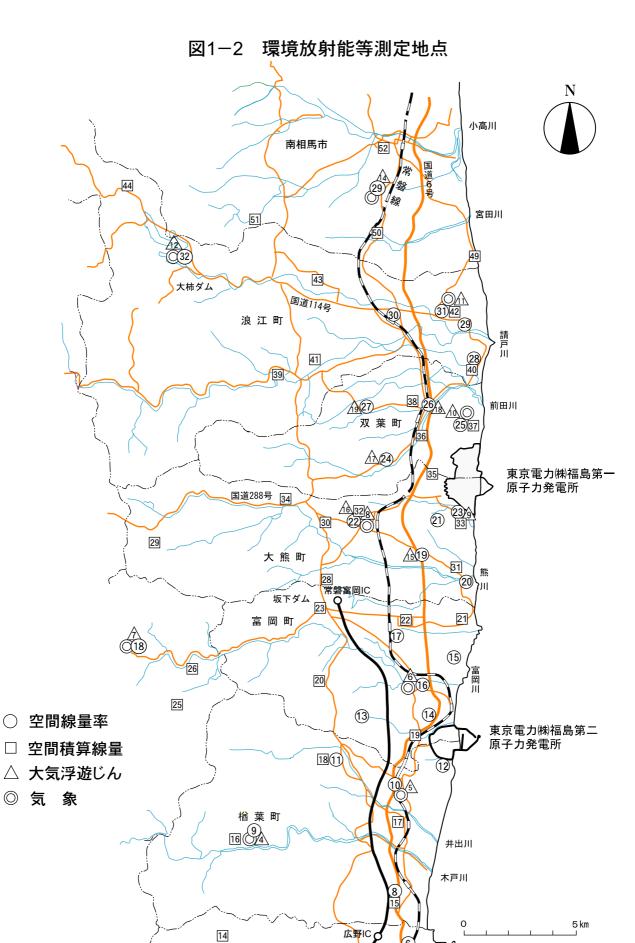
	区	分		华	料	Þ.	抽占粉	採取頻度	採取回数		測	定試	料数	女 (今其	期)		実施機関
),		卟	14	111	地点数	1米以頻及	(今期)	全β	γ	^{131}I	^{3}H	Sr	Pu	Am,Cm	大心极民
大			気	大気	浮边	産じん	7	毎月	3		21						
人				大 気	中	水分	1	毋刀	3				3				
降	-	F	物	降	下	物	9	毎月	3		27						原子力センター
陸			土	表		土	7	年1回	0		0			0	0	0	原子力センター 福島支所
陸			水	上		水	2	年1回	0		0		0	0	0		
指	標	植	物	松		葉	5	年4回	1		5	5					

^{*2} 東京電力(株)福島第二原子力発電所周辺海域

2 測定方法

涉	削定項目	測定装置	測 定 方 法
空間	空間線量率	モニタリングポスト	検 出 器:低線量 2"φ×2"NaI(T1)シンチレーション検出器 (東芝製他、温度補償・エネルギー補償回路付) 高線量 14Lアルミ製加圧型球形電離箱検出器 測定位置:地表上約3m、約1m 校正線源: Co-60、Cs-137及びRa-226
放射線	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測 定 法:文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 検 出 器:蛍光ガラス線量計、AGCテクノグラス SC-1 測 定 器:AGCテクノグラス FGD-202 測定位置:地表上約1m 校正線源:Cs-137
環	大気浮遊じん の全アルファ 放射能及び全 ベータ放射能	ダストモニタ	測 定 法:6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を同時測定 集じん法:ろ紙ステップ式(使用ろ紙:HE-40T) 吸引量:約90㎡/6時間 検 出 器:ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータのはり合わせ検出器 (日立アロカメディカル ADC-121他) 採取位置:地表上約3m、約 2.3m 校正線源:U308
境試	全ベータ放射能	β線自動測定装置 (福島支所)	測 定 法:文部科学省編「全ベータ放射能測定法」(昭和51年改訂) 検 出 器: ローバックグラウンドガスフローカウンタ(日立アロカメディカル LBC-420 2B 3台) 校正線源:U308(海水)
料	核種濃度	γ線放出核種分析装置 β線自動測定装置	測 定 法:文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂)及び「トリチウム分析法」(平成14年改訂)に準拠測定器:Ge半導体検出器(キャンベラ GC3018 CC-HI-U 他13台)波高分析器(キャンベラ LINX DSA MCA(4096ch) 14台)ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置(日立アロカメディカルLSC-LB7) (福島支所) Ge半導体検出器(ORTEC GEM30185 他2台)波高分析器(キャンベラ LINX DSA MCA(4096ch) 3台)ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置(日立アロカメディカルLSC-LB7 他1台)
	放射性ストロ ンチウム濃度	β線自動測定装置 (福島支所)	測 定 法:文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成 15年改訂)に定めるイオン交換法 測 定 器: ローバックグラウンドガスフローカウンタ(日立アロカメディカル LBC-4202 B 3台) 校正線源: Sr-89及びSr-90
	アメリシウ ム、キュリウ ム及びプルト ニウム濃 度	α線放出核種分析装置 (福島支所)	測 定 法:文部科学省編「プルトニウム分析法」(平成2年改訂) 及び「アメリシウム分析法」(平成2年)に定めるイ オン交換法 測 定 器:Si半導体検出器(ORTEC BU-017-450 他12台) 波高分析器(ORTEC デジタルMCA(ソフトウェア) 他1台) 校正線源:Np-239、Am-241及びCm-244





広野町③

, 北迫川

図2-1 環境試料採取地点

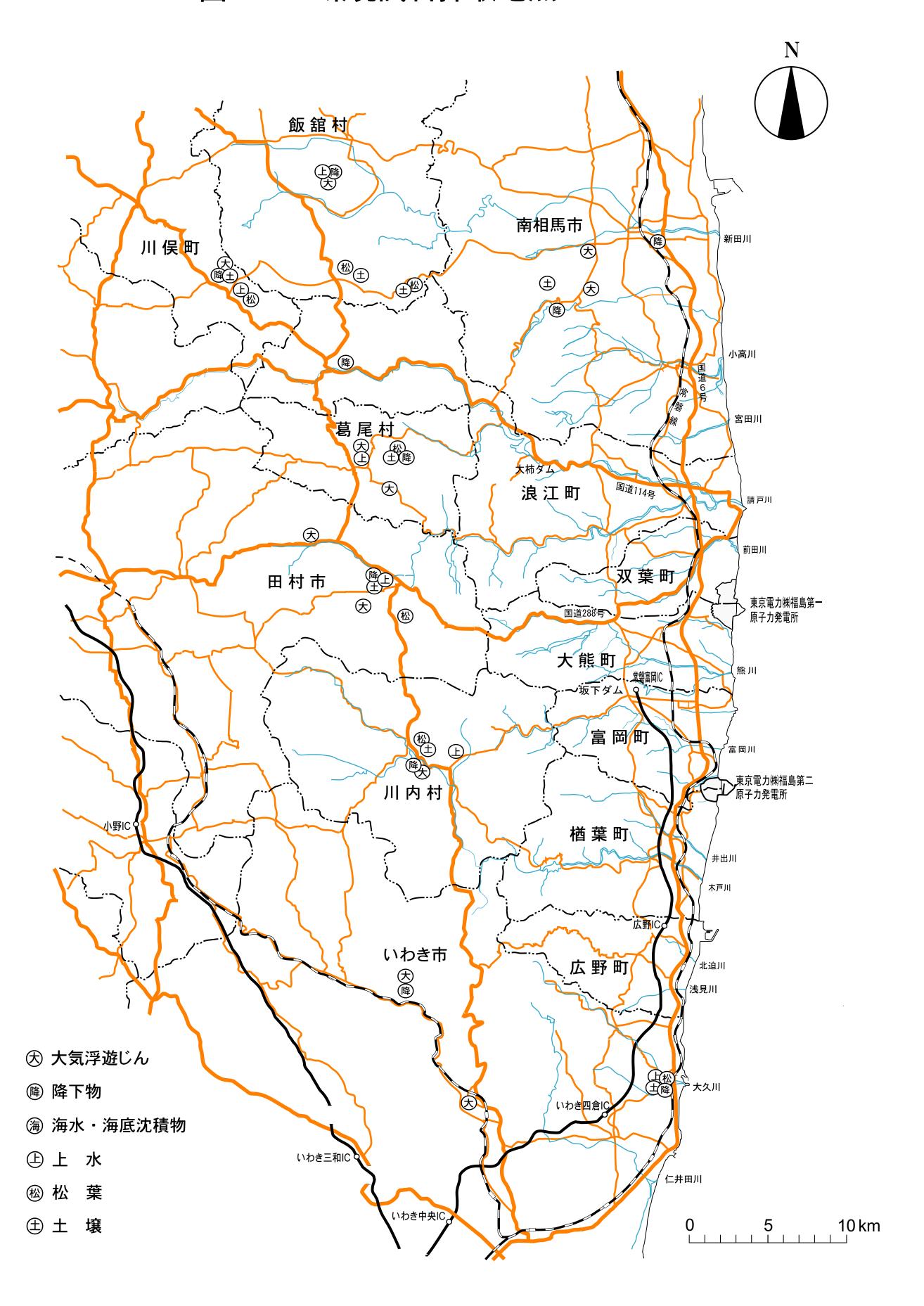


図2-2 環境試料採取地点



3 測定結果

(1) 空間放射線

ア 空間線量率

※ 1000n (ナノ) =1μ (マイクロ)

	測	定 年 月		平成2	7年7月			平成2	7年8月			平成2	7年9月	
	測	定項目		空間	泉量率			空間	線 量 率			空間	泉量率	
	測	定 値	平均值	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	平均值	最大値	測定時間	備考
No.	;	地点名	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)
1	いわき市	小	55	66	744		56	73	744		56	65	720	
2	いわき市	ひさのは *	106	115	744		109	126	744		105	121	720	
3	いわき市	下桶壳	69	82	744		69	84	744		68	78	720	
4	いわき市	かわまな	78	91	744		76	93	744		72	86	720	
5	田村市	都路馬洗戸	123	140	744		121	148	744		118	133	718	停電/2
6	広野町	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	123	134	744		125	143	744		118	138	714	点検/6
7	広野町	小灌草	112	121	744		112	127	744		108	121	720	
8	楢葉町	やまだおか山田田岡	95	105	742	点検/2	92	105	742	点検 ^{*3} /2	88	103	715	点検/5
9	楢葉町	木戸ダム	145	155	744		145	166	744		140	154	720	
10	楢葉町	で が お か 岡	288	300	744		285	304	744		276	287	712	点検/8
11	楢葉町	松蟾	320	330	744		318	336	744		306	323	714	点検/6
12	楢葉町	波。	365	379	744		362	386	744		350	366	708	点検 ^{*3} /12

	測	定年月		平成2	7年7月			平成2	7年8月			平成2	7年9月	
	測	定項目		空間	泉 量 率			空間	泉 量 率			空間	泉 量 率	
	測	定値	平均值	最大値	測定時間	備考	平均值	最大値	測定時間	備考	平均值	最大値	測定時間	備考
No.	:	地点名	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)
13	富岡町	かみこおりやま上 郡 山	616	637	744		603	642	744		588	611	712	点検/8
14	富岡町	下 郡 山	376	391	744		368	390	744		325	350	716	点検/4
15	富岡町	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	290	308	744		293	313	744		273	295	720	
16	富岡町	富。湖	409	436	744		396	421	744		398	416	713	点検/7
17	富岡町	ででで、森	1, 503	1, 581	742	点検/2	1, 461	1, 563	741	点検 ^{*3} /3	1, 393	1, 467	712	点検/8
18	川内村	下加力方	322	341	744		320	343	744		309	325	720	
19	大熊町	かいはた 畑	2, 610	2,687	744		2, 574	2, 688	744		2, 487	2, 570	715	点検/5
20	大熊町	く ^{まかわ} *1	2, 852	3, 095	744		2, 922	3, 156	744		2, 852	3, 068	720	
21	大熊町	n +2 *2	8, 073	8, 351	744		7, 989	8, 358	744		7, 581	7,848	715	点検/5
22	大熊町	大 野	1, 950	1, 996	739	点検 ^{*4} /5	1, 923	1, 982	740	点検 ^{*4} /4	1,865	1, 923	715	点検/5
23	大熊町	まっとざわ *2 夫 沢 *2	13, 793	14, 290	744		13, 626	14, 295	744		12, 943	13, 420	714	点検/6
24	双葉町	や ^{ま だ} *2 山 田	8, 204	8, 701	744		7, 797	8, 358	744		7, 054	7, 667	720	
25	双葉町	まりゃま 出	688	704	744		679	701	744		656	674	720	
26	双葉町	新。近	2, 496	2,665	744		2, 477	2, 683	742	点検 ^{*3} /2	2, 337	2, 465	715	点検/5

	測	定年月		平成2	7年7月			平成2	7年8月			平成2	7年9月	
	測	定項目		空間	泉量率			空間	泉量率		空間線量率			
	測	定値	平均値	最大値	測定時間	備考	平均值	最大値	測定時間	備考	平均值	最大値	測定時間	備考
No.	;	地 点 名	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)
27	双葉町	上 羽 鳥	899	935	743	点検/1	891	939	744		855	888	720	
28	浪江町	う け ど *1 請 戸 *1	100	111	744		102	174	744		95	124	720	
29	浪江町	ta Lis *1 棚 塩 *1	139	149	744		141	156	744		134	164	720	
30	浪江町	浪 江	366	383	743	点検/1	360	381	742	点検 ^{*3} /2	345	363	720	
31	浪江町	幾世橋	145	155	733	点検 ^{*4} /11	144	159	744		136	156	720	
32	浪江町	大 柿 ダ ム	1, 175	1, 215	744		1, 166	1, 209	744		1, 127	1, 177	720	
33	浪江町	南準島	1, 974	2,091	744		1, 955	2, 123	744		1, 789	1,949	720	
34	葛尾村	夏。湯	208	228	744	_	202	221	744		194	208	720	
35	南相馬市	泉水水水水	181	194	743	点検/1	180	196	744		171	189	720	
36	南相馬市	横川ダム	377	395	744		377	401	744		364	378	720	

- 注) *1 可搬型モニタリングポストによる測定
 - *2 空間線量率の測定はモニタリングポスト (NaIシンチレーション検出器、単位:ナノグレイ/時) により行ったが、概ね10,000nGy/h $(10\,\mu\,\mathrm{Gy/h})$ を超えた場合は、併設している高線量用モニタリングポスト (電離箱検出器、単位:ナノグレイ/時) の測定値で補完した。
 - *3 空間線量率測定に使用するエネルギー自動調整機能(安定化機能)の設定変更作業に伴う欠測。
 - *4 気温の上昇に伴い、検出器内部温度が保証温度設定値の45℃を超えたため欠測。

イ 空間積算線量

	測定期間	=	平成 27 年 7 月 16 日 ~	平成 27 年 10 月 1	15 目 ^{*1}	
	測 定 項 目	積	算 線 量*2	測定日数	備	考
No.	地 点 名		(mGy)	(目)	7VHI	5
1	いわき市石。森	0. 27	(0.27)	91		
2	いわき市 四 倉	0.34	(0.33)	91		
3	いわき市 大 野	0. 25	(0.25)	91		
4	いわき市 福 闘	0. 27	(0.26)	91		
5	いわき市 大 久	0. 27	(0.27)	91		
6	いわき市 末 続	0.41	(0.40)	91		
7	いわき市 上 小川	0.53	(0.53)	90	設置日: H27.7.17	
8	いわき市 志田名	0.50	(0.50)	90	設置日: H27.7.17	
9	いわき市 売 営 井	0. 25	(0.25)	90	設置日: H27.7.17	
10	田村市場では	0.48	(0.48)	91		
11	田村市 苦 逽	0. 28	(0.27)	91		
12	田村市 岩井沢	0. 25	(0.24)	91		
13	広野町 下浅見川	0. 26	(0.26)	91		
14	広野町 箒 平	0.33	(0.33)	91		
15	楢葉町 山田岡	0.31	(0.31)	91		
16	楢葉町 乙次郎	0.33	(0.32)	91		
17	楢葉町 井 出	0.34	(0.34)	91		
18	楢葉町 上 繁 岡	0. 56	(0.55)	91		
19	富岡町 太 田	0.75	(0.74)	91		
20	富岡町赤木木	0.68	(0.67)	91		

	測定	期間		平成 27 年 7 月 16 日 ~	平成 27 年 10 月	15 日 ^{*1}
	測定	項目	積	算 線 量* ²	測定日数	- 備 考
No.	地	点 名		(mGy)	(目)	- 1佣 与
21	富岡町	ぉらぉゖま 小良ヶ浜	5.9	(5.9)	91	
22	富岡町	ょのもりきた 夜の森北	2.7	(2.7)	91	
23	富岡町	上手岡	1.4	(1.4)	91	
24	川内村	きッ 石	0.91	(0.91)	90	設置日: H27.7.17
25	川内村	かい の きか	1.4	(1.4)	91	
26	川内村	五枚沢	0.62	(0.61)	91	
27	川内村	上川内	0.24	(0.24)	91	
28	大熊町	大川原	0.58	(0.58)	91	
29	大熊町	地 ケ 丘	0.67	(0.66)	91	
30	大熊町	野がた	4.6	(4.6)	91	
31	大熊町	くまがわ 川	12	(12)	91	
32	大熊町	大 野	12	(11)	91	
33	大熊町	まっと ぎゃ 沢	36	(35)	91	
34	大熊町	。 の 神	3.6	(3.6)	91	
35	大熊町	長者原	10	(10)	91	
36	双葉町	きょと さく 清 戸 迫	2.2	(2.2)	91	
37	双葉町	まだりゃま 山	1.8	(1.7)	91	
38	双葉町	まがっ 塚	4.6	(4.6)	91	
39	浪江町	井 手	24	(24)	91	
40	浪江町	請 ど戸	0.44	(0.43)	91	

	測定	期間		平成 27 年 7 月 16 日 ~	平成 27 年 10 月 1	5 日 ^{*1}
	測定	項目		i	測定日数	備考
No.	地	点 名		(mGy)	(日)	7期 行
41	浪江町	お 野 田	3. 7	(3.6)	91	
42	浪江町	きょはし幾世橋	0.42	(0.42)	91	
43	浪江町	がりできる	4. 2	(4.2)	91	
44	浪江町	ひる そ ね 昼 曽 根	13	(13)	91	
45	浪江町	津島	5. 3	(5.2)	91	
46	葛尾村	********************** 放	0. 57	(0.57)	91	
47	葛尾村	落 合	0.73	(0.72)	91	
48	葛尾村	野行	5. 0	(4.9)	91	
49	南相馬市	jb Ľŋ 浦 尻	0.33	(0.32)	91	
50	南相馬市	耳 谷	0.43	(0.42)	91	
51	南相馬市	がわ ぶさ 房	2. 7	(2.7)	91	
52	南相馬市	関 場	0.99	(0.98)	91	
53	南相馬市	高	0.29	(0.28)	91	
54	南相馬市	大木戸	0.23	(0.23)	91	
55	南相馬市	萱 浜	0. 18	(0.18)	91	
56	南相馬市	大原	1. 0	(1.0)	91	
57	南相馬市	7:1 1	0.36	(0.35)	91	
58	飯舘村	わらび だいら 蕨 平	1.1	(1.1)	91	
59	飯舘村	^{なが} どろ 泥	5.3	(5.2)	91	
60	飯舘村	飯種	0.91	(0.90)	91	

	測 定 期 間	平成 27 年 7 月	16 日 ~ 平成 27 年 10 月 1	5 目 ^{*1}
	測定項目	積	測定日数	備考
No.	地 点 名	(mGy)	(目)	™ [√] ¬
61	飯舘村 臼 石	1.6 (1.6)	91	
62	飯舘村 草 野	1.5 (1.5)	91	
63	川俣町 山木屋坂下	1.5 (1.5)	91	
64	川俣町 山 木 屋	0. 52 (0. 51)	91	

注) *1 一部地点を除く

*2 () 内は90日換算値

(2) 環境試料

ア 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

					全アルフ	ア放射能			全ベータ	'放射能	
No.	地	点 名	測定年月	平均值	最大値	測定時間	備考	平均值	最大値	測定時間	備考
				$(\mathrm{Bq/m}^3)$	$(\mathrm{Bq/m}^3)$	(h)	(欠測理由/ 時間)	$(\mathrm{Bq/m}^3)$	$(\mathrm{Bq/m}^3)$	(h)	(欠測理由/ 時間)
			平成27年7月	0.050	0. 21	708	故障 ^{*1} /36	0.067	0. 25	708	故障*1/36
1	いわき市	おがわり	平成27年8月	0.045	0. 23	744		0.059	0. 24	744	
			平成27年9月	0. 031	0.13	720		0.046	0. 17	720	
			平成27年7月	0. 021	0. 083	696	故障*1/48	0.036	0. 10	696	故障 ^{*1} /48
2	田村市	みやこじうまあらいど 都路馬洗戸	平成27年8月	0.017	0.069	732	停電/12	0.030	0. 082	732	停電/12
			平成27年9月	0.012	0. 055	696	停電/24	0.026	0. 071	696	停電/24
			平成27年7月	0.038	0.14	732	停電/12	0.057	0. 17	732	停電/12
3	広野町	こたきだいら 小滝平	平成27年8月	0.034	0. 17	720	停電/24	0.051	0. 19	720	停電/24
			平成27年9月	0.019	0. 075	708	停電/12	0.035	0. 095	708	停電/12
			平成27年7月	0.039	0. 16	744		0.054	0. 19	744	
4	楢葉町	^{きど} 木戸ダム	平成27年8月	0.032	0. 11	744		0.046	0.13	744	
			平成27年9月	0.024	0. 10	720		0.039	0. 12	720	
			平成27年7月	0.027	0. 13	720	故障*1/24	0.056	0. 22	720	故障 ^{*1} /24
5	楢葉町	しげおか 繁 岡	平成27年8月	0.016	0.11	744		0.039	0. 19	744	
			平成27年9月	0.007	0. 035	720		0.025	0. 073	720	
			平成27年7月	0.024	0.13	744		0.046	0. 19	744	
6	富岡町	とみおか 富 岡	平成27年8月	0.024	0. 14	714	故障 ^{*2} /30	0.044	0. 19	714	故障*2/30
			平成27年9月	0.013	0.062	720		0.031	0. 093	720	
			平成27年7月	0.050	0. 19	696	故障 ^{*3} /48	0.064	0. 21	696	故障 ^{*3} /48
7	川内村	しもかわうち 下川内	平成27年8月	0.040	0.18	708	停電/36	0.052	0. 18	708	停電/36
			平成27年9月	0.028	0.13	720		0.043	0.14	720	

				全アルフ	ア放射能			全ベータ	放射能	
No.	地 点 名	測定年月	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考
			$(\mathrm{Bq/m}^3)$	$(\mathrm{Bq/m}^3)$	(h)	(欠測理由/ 時間)	$(\mathrm{Bq/m}^3)$	$(\mathrm{Bq/m^3})$	(h)	(欠測理由/ 時間)
		平成27年7月	0.012	0. 048	744		0.045	0.10	744	
8	大熊町 ままの 野	平成27年8月	0.009	0. 057	744		0.040	0.11	744	
		平成27年9月	0.006	0. 026	720		0.033	0.064	720	
		平成27年7月	0.016	0. 079	744		0.10	0.20	744	
9	大熊町 まっとざわ	平成27年8月	0.013	0. 098	744		0.10	0. 23	744	
		平成27年9月	0.008	0. 037	720		0.098	0.15	720	
		平成27年7月	0.017	0.086	744		0. 039	0.15	744	
10	双葉町 こおりやま 郡 山	平成27年8月	0.013	0.072	744		0.032	0.12	744	
		平成27年9月	0.006	0. 025	720		0. 022	0. 049	720	
		平成27年7月	0.029	0. 17	672	点検/72	0.052	0. 24	672	点検/72
11	浪江町 きょはし 幾世橋	平成27年8月	0.031	0. 17	744		0.052	0. 24	744	
		平成27年9月	0.020	0.093	720		0. 039	0. 13	720	
		平成27年7月	0.065	0.31	732	点検/12	0.089	0.35	732	点検/12
12	浪江町 大柿ダム	平成27年8月	0.047	0. 22	732	停電/12	0.066	0. 24	732	停電/12
		平成27年9月	0.029	0. 091	708	停電/12	0.049	0. 12	708	停電/12
		平成27年7月	0.065	0.30	732	点検/12	0.089	0.37	732	点検/12
13	葛尾村 なっぱ	平成27年8月	0.050	0.31	708	停電/36	0.070	0.35	708	停電/36
		平成27年9月	0.033	0.14	720		0.053	0. 19	720	
		平成27年7月	0. 025	0.10	726	点検/18	0.038	0.12	726	点検/18
14	南相馬市 泉 沢	平成27年8月	0. 023	0. 12	744		0.036	0.14	744	
		平成27年9月	0.013	0.050	720		0.026	0.062	720	

注) *1 ダストモニタのプログラムに不具合(データ送信ファイルが作成されない)が生じたため、欠測が発生した。

^{*2} 測定データ伝送部品(シーケンサ)が故障したため、欠測が発生した。

^{*3} 検出器からの信号をコンピュータに送る基板が故障したため、欠測が発生した。

イ 大気浮遊じんの核種濃度

No.	地	点名	採取期間				核	種	濃	度 (ml	$3q/m^3$)			
110.	TE.	☆ 右	1木 以 朔 间	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		おがわり	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	ND	ND	ND							
1	いわき市	小 川	H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	ND	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	ND	ND							
		みやこじうまあらいど	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	ND	ND	ND							
2	田村市	都路馬洗戸	H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	ND	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	ND	ND							
		こたきだいら 小滝平	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	ND	ND	ND							
3	広野町		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	ND	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	ND	ND							
		きど 木戸ダム	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	ND	ND	ND							
4	楢葉町		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	ND	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	ND	ND							
		Lifi lish 繁 岡	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	ND	0. 14	ND							
5	楢葉町		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	0. 15	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	0.32	ND							
		とみ おか 富 岡	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	0.11	0.44	ND							
6	富岡町		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	0. 29	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	0. 16	ND							
		しもかわうち 下川内	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	ND	ND	ND							
7	川内村		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	ND	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	ND	ND							
		大野	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	0.73	2. 9	ND							
8	大熊町	•	H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	0.22	0. 78	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	0.12	0.40	ND							
		おっと ざわ 夫 沢	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	0.13	0.46	ND							
9	大熊町		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	0.30	1.6	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	0.21	0.90	ND							

No.	4	地 点 名	採取期間				核	種	濃		Bq/m^3)			
IVO.	١	化 尽 石	休 収 朔 囘	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		こおり やま	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	0.12	0. 59	ND							
10	双葉町	郡(山	H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	0.17	0.62	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	0.29	1. 1	ND							
		** ta La	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	ND	ND	ND							
11	浪江町		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	ND	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	ND	ND							
		^{おおがき} 大柿ダム	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	ND	0. 14	ND							
12	浪江町		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	0.055	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	0. 18	ND							
		夏湯	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	ND	ND	ND							
13	葛尾村		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	ND	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 \sim H27.10. 1	ND	ND	ND	ND							
		いずみ さわ 泉 沢	H27.7. 1 ∼ H27.8. 1	ND	ND	ND	ND							
14	南相馬市		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	ND	ND	ND							
		(連続ダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	ND	ND							
		むかい はた 向 畑	H27. 6. 30 ∼ H27. 7. 31	ND	0.11	0.38	ND							
15	大熊町		H27.7. 31 ∼ H27.8. 31	ND	0.090	0. 43	ND							
		(リアルタイムダストモニタ)	H27. 8. 31 ∼ H27. 9. 30	ND	0.099	0. 47	ND							
		*** の 大 野	H27.7. 1 ∼ H27.7. 31	ND	0.098	0. 41	ND							
16	大熊町		H27.7. 31 ∼ H27.8. 31	ND	0.10	0. 45	ND							
		(リアルタイムダストモニタ)	H27. 8. 31 ∼ H27. 10. 1	ND	0.079	0. 28	ND							
		やま だ 山 田	H27.7. 1 ∼ H27.7. 31	ND	0.77	2. 9	ND							
17	双葉町		H27.7. 31 ∼ H27.9. 1	ND	0. 23	0. 90	ND							
_		(リアルタイムダストモニタ)	H27. 9. 1 ∼ H27. 9. 30	ND	0.34	1.4	ND							
		uh ざh 新 山	H27.6. 30 ∼ H27.8. 1	ND	0.18	0.71	ND							
18	双葉町		H27.8. 1 ∼ H27.9. 1	ND	0. 12	0.46	ND							
		(リアルタイムダストモニタ)	H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	0.073	0.31	ND							

No.	+	也 点 名	採取期間				核	種	濃	度 (ml	$\mathrm{Bq/m}^3$)			
110.	Д		1水 - 以 - 労」 [日]	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	$^{95}\mathrm{Zr}$	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		かみはとり	H27.7. 1 \sim H27.8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	0.74	ND
19	双葉町	上羽鳥	H27.8. 1 ∼ H27.8. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.095	0.40	ND
		(リアルタイムダストモニタ)	H27.8. 31 ∼ H27.9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	0.59	ND
			H27.7.1 \sim H27.7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			H27.7.8 \sim H27.7.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			H27.7.15 ∼ H27.7.22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			H27.7.22 ∼ H27.7.29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			H27.7.29 ∼ H27.8.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.094	ND
		かりまえ	H27. 8. 5 ∼ H27. 8. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
20	いわき市	川前	H27.8.12 ∼ H27.8.19	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		(簡易型ダストサンプラー)	H27. 8. 19 ∼ H27. 8. 26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			H27.8.26 ∼ H27.9.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			H27.9.2 ∼ H27.9.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			H27. 9. 9 ∼ H27. 9. 16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			H27.9.16 ∼ H27.9.23	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			H27.9.23 ∼ H27.9.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.028	ND
		いわいざわ 岩井沢	H27.7.8 ∼ H27.7.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
21	田村市	岩井沢	H27.8. 17 ∼ H27.8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	· 	(簡易型ダストサンプラー)	H27.9. 14 ∼ H27.9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	_	しもきたば	H27.7. 6 ∼ H27.7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
22	広野町	r北迫	H27.8. 3 ∼ H27.8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		(簡易型ダストサンプラー)	H27.9. 1 ∼ H27.9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地 点 名	採取期間				核	種	濃	度 (ml	$\mathrm{Bq/m}^3$)			
INO.	地 点 泊		⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		H27.7.1 ∼ H27.7.8	ND	ND	0.027	ND							
		H27.7.8 ∼ H27.7.15	ND	ND	0.036	ND							
		H27.7.15 ∼ H27.7.22	ND	ND	0.032	ND							
		H27.7.22 ∼ H27.7.29	ND	ND	0.031	ND							
		H27.7.29 ∼ H27.8.5	ND	ND	0.022	ND							
	カルカラち ルエル 上 川 内	H27. 8. 5 ∼ H27. 8. 12	ND	ND	0.026	ND							
23	川 内 村	H27.8.12 ∼ H27.8.19	ND	ND	0.029	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27.8.19 ∼ H27.8.26	ND	ND	0.025	ND							
		H27.8.26 ∼ H27.9.2	欠測*1	欠測*1	欠測*1	欠測*1							
		H27.9.2 ∼ H27.9.9	ND	ND	ND	ND							
		H27. 9. 9 ∼ H27. 9. 16	ND	ND	0.041	ND							
		H27. 9. 16 ∼ H27. 9. 24	ND	ND	0.030	ND							
		H27.9.24 ∼ H27.9.30	ND	ND	0.056	ND							
	おちあい落合	H27.7. 8 ∼ H27.7. 9	ND	ND	0. 24	ND							
24	曷尾村	H27.8. 17 ∼ H27.8. 18	ND	ND	ND	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27.9. 14 ∼ H27.9. 15	ND	ND	ND	ND							

No.	地点名	採取期間				核	種	濃	度 (ml	$3q/m^3$)			
INO.	地 点 石	1木 収 朔 间	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		H27.7.1 ∼ H27.7.8	ND	0.054	0. 19	ND							
		H27.7.8 ∼ H27.7.15	ND	0.047	0.18	ND							
		H27.7.15 \sim H27.7.22	ND	0.029	0.12	ND							
		H27.7.22 ∼ H27.7.29	ND	0.046	0. 17	ND							
		H27.7.29 ∼ H27.8.5	ND	0.059	0.16	ND							
	世	H27. 8. 5 \sim H27. 8. 12	ND	0.050	0. 22	ND							
25	14 4月 223 111	H27. 8. 12 ∼ H27. 8. 19	ND	0.035	0. 18	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27. 8. 19 ∼ H27. 8. 26	ND	0.027	0.11	ND							
		H27. 8. 26 \sim H27. 9. 2	ND	ND	0.063	ND							
		H27. 9. 2 \sim H27. 9. 9	ND	0.036	0.13	ND							
		H27. 9. 9 ∼ H27. 9. 16	ND	0.031	0. 17	ND							
		H27. 9. 16 ∼ H27. 9. 24	ND	0.048	0. 20	ND							
		H27. 9. 24 ∼ H27. 9. 30	ND	0.025	0. 11	ND							
	おおきど大木戸	H27.7. 21 ∼ H27.7. 22	ND	ND	ND	ND							
26		H27.8. 19 ∼ H27.8. 20	ND	ND	ND	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27.9. 16 ∼ H27.9. 17	ND	ND	ND	ND							
		H27. 7. 1 ∼ H27. 7. 8	ND	ND	0.11	ND							
		H27. 7. 8 ∼ H27. 7. 15	ND	0.058	0. 18	ND							
		H27.7.15 \sim H27.7.22	ND	0.023	0. 11	ND							
		H27.7.22 ∼ H27.7.29	ND	ND	0.091	ND							
		H27.7.29 ∼ H27.8.5	ND	0.035	0. 16	ND							
	いたみざわ 伊 丹 沢	H27. 8. 5 ∼ H27. 8. 12	ND	0.039	0. 21	ND							
27	即 韶 村	H27. 8. 12 ∼ H27. 8. 19	ND	0.036	0.11	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27. 8. 19 ∼ H27. 8. 26	ND	ND	0. 10	ND							
		H27. 8. 26 ∼ H27. 9. 2	ND	ND	0.059	ND							
		H27. 9. 2 ∼ H27. 9. 9	ND	0.044	0. 18	ND							
		H27. 9. 9 ∼ H27. 9. 16	ND	0.030	0. 15	ND							
		H27. 9. 16 ∼ H27. 9. 24	ND	0.027	0. 18	ND							
		H27. 9. 24 ∼ H27. 9. 30	ND	0.036	0.19	ND							

No.	地 点 名	採取期間				核	種	濃	度 (mi	$\mathrm{Bq/m}^3$)			
110.	地 杰 有	17、 以 朔 旧	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		H27.7.1 \sim H27.7.8	ND	0.066	0. 21	ND							
		H27.7.8 \sim H27.7.15	ND	0.083	0.36	ND							
		H27.7.15 \sim H27.7.22	ND	0.043	0. 16	ND							
		H27.7.22 \sim H27.7.29	ND	0.041	0. 18	ND							
		H27.7.29 \sim H27.8.5	ND	0.054	0. 26	ND							
	やまきや	H27.8.5 \sim H27.8.12	ND	0.057	0.31	ND							
28		H27.8.12 ∼ H27.8.19	ND	0.022	0.089	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27. 8. 19 \sim H27. 8. 26	ND	0.022	0.12	ND							
		H27.8.26 \sim H27.9.2	ND	ND	0.044	ND							
		H27. 9. 2 \sim H27. 9. 9	ND	0.035	0.12	ND							
		H27. 9. 9 ∼ H27. 9. 16	ND	0.045	0. 17	ND							
		H27. 9. 16 \sim H27. 9. 24	ND	0.048	0. 25	ND							
		H27.9.24 ∼ H27.9.30	ND	ND	0.12	ND							
		H27.7.1 \sim H27.7.8	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.8 \sim H27.7.15	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.15 \sim H27.7.22	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.22 \sim H27.7.29	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.29 \sim H27.8.5	ND	ND	ND	ND							
	** * * * * * * * * * * * * * * * * * *	H27. 8. 5 \sim H27. 8. 12	ND	ND	0.028	ND							
29	4 45 C 113	H27. 8. 12 \sim H27. 8. 19	ND	ND	0.028	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27. 8. 19 \sim H27. 8. 26	ND	ND	ND	ND							
		H27.8.26 \sim H27.9.2	ND	ND	ND	ND							
		H27. 9. 2 \sim H27. 9. 9	ND	ND	ND	ND							
		H27. 9. 9 \sim H27. 9. 16	ND	ND	ND	ND							
		H27. 9. 16 \sim H27. 9. 23	ND	ND	0.022	ND							
		H27.9.23 ∼ H27.9.30	ND	ND	ND	ND							

No.	地点名	採取期間				核	種	濃	度 (m	$\mathrm{Bq/m}^3$)			
110.	地 点 石	1木 以 朔 间	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		H27.7.1 ∼ H27.7.8	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.8 ∼ H27.7.15	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.15 ∼ H27.7.22	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.22 ∼ H27.7.29	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.29 \sim H27.8.5	ND	ND	0.027	ND							
	いわき古 ^{たいら} 平	H27.8.5 \sim H27.8.12	ND	ND	ND	ND							
30	4 . 45 G 111	H27.8.12 ∼ H27.8.19	ND	ND	ND	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27.8.19 ∼ H27.8.26	ND	ND	ND	ND							
		H27.8.26 \sim H27.9.2	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.2 \sim H27.9.9	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.9 ∼ H27.9.16	ND	ND	ND	ND							
		H27. 9. 16 \sim H27. 9. 23	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.23 ∼ H27.9.30	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.1 \sim H27.7.8	ND	ND	0.044	ND							
		H27. 7. 8 \sim H27. 7. 15	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.15 \sim H27.7.22	ND	ND	0.035	ND							
		H27.7.22 \sim H27.7.29	ND	ND	0.050	ND							
		H27.7.29 ∼ H27.8.5	ND	ND	0.029	ND							
	ょっくら いわき市 四 倉	H27. 8. 5 \sim H27. 8. 12	ND	ND	0.031	ND							
31	4 45 6 111	H27. 8. 12 ∼ H27. 8. 19	ND	ND	0.035	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27.8.19 \sim H27.8.26	ND	0.046	0.16	ND							
		H27.8.26 \sim H27.9.2	ND	ND	ND	ND							
		H27. 9. 2 \sim H27. 9. 9	ND	ND	0.027	ND							
		H27. 9. 9 ∼ H27. 9. 16	ND	ND	0.033	ND							
		H27. 9. 16 \sim H27. 9. 23	ND	ND	0.032	ND							
		H27.9.23 ∼ H27.9.30	ND	ND	0.070	ND							

No.	地点名	採取期間				核	種	濃	度 (mi	$\mathrm{Bq/m}^3$)			
INO.	地 点 泊	1木 収 朔 囘	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	$^{95}\mathrm{Zr}$	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		H27.7.1 ∼ H27.7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.7.8 ∼ H27.7.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.7.15 ∼ H27.7.22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.7.22 ∼ H27.7.29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.7.29 \sim H27.8.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	いわき市 三 和	H27. 8. 5 ∼ H27. 8. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
32	, 45 C 114	H27.8.12 ∼ H27.8.19	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	(簡易型ダストサンプラー)	H27. 8. 19 ∼ H27. 8. 26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.089	ND
		H27.8.26 \sim H27.9.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27. 9. 2 \sim H27. 9. 9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27. 9. 9 ∼ H27. 9. 16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.9.16 ∼ H27.9.23	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.9.23 ∼ H27.9.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.7.1 \sim H27.7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.7.8 \sim H27.7.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.7.15 \sim H27.7.22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.7.22 \sim H27.7.29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.7.29 ∼ H27.8.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	L A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	H27. 8. 5 \sim H27. 8. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
33	E 11 114	H27.8.12 ∼ H27.8.19	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	(簡易型ダストサンプラー)	H27. 8. 19 \sim H27. 8. 26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.8.26 \sim H27.9.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.9.2 ∼ H27.9.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27. 9. 9 ∼ H27. 9. 16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.9.16 ∼ H27.9.24	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27. 9. 24 ∼ H27. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地点名	採取期間				核	種	濃	度 (ml	$\mathrm{Sq/m}^3$)			
110.	地 点 石	1木 以 朔 间	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		H27.7.1 ∼ H27.7.8	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.8 \sim H27.7.15	ND	ND	0.025	ND							
		H27.7.15 ∼ H27.7.22	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.22 ∼ H27.7.29	ND	ND	0.021	ND							
		H27.7.29 \sim H27.8.5	ND	ND	0.025	ND							
	田村市 船 引	H27. 8. 5 \sim H27. 8. 12	ND	ND	0.050	ND							
34	H 11 114	H27. 8. 12 ∼ H27. 8. 19	ND	ND	ND	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27. 8. 19 \sim H27. 8. 26	ND	ND	ND	ND							
		H27. 8. 26 \sim H27. 9. 2	ND	ND	ND	ND							
		H27. 9. 2 \sim H27. 9. 9	ND	ND	ND	ND							
		H27. 9. 9 \sim H27. 9. 16	ND	ND	0.021	ND							
		H27. 9. 16 \sim H27. 9. 24	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.24 ∼ H27.9.30	ND	ND	0.029	ND							
		H27. 7. 1 \sim H27. 7. 8	ND	ND	ND	ND							
		H27. 7. 8 \sim H27. 7. 15	ND	0.035	0.078	ND							
		H27.7.15 \sim H27.7.22	ND	ND	0.038	ND							
		H27.7.22 \sim H27.7.29	ND	ND	ND	ND							
		H27. 7. 29 \sim H27. 8. 5	ND	ND	ND	ND							
	かみ うつし 田 村 市	H27. 8. 5 \sim H27. 8. 12	ND	ND	ND	ND							
35	FH 41 111	H27. 8. 12 \sim H27. 8. 19	ND	ND	0.024	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27. 8. 19 \sim H27. 8. 26	ND	ND	0.029	ND							
		H27. 8. 26 \sim H27. 9. 2	ND	ND	ND	ND							
		H27. 9. 2 \sim H27. 9. 9	ND	ND	0.022	ND							
		H27. 9. 9 ∼ H27. 9. 16	ND	ND	0.037	ND							
		H27. 9. 16 \sim H27. 9. 24	ND	ND	0.033	ND							
		H27. 9. 24 \sim H27. 9. 30	ND	ND	0.027	ND							

No.	地点名	採取期間				核	種	濃	度 (ml	$3q/m^3$)			
INO.	地 点 石	1木 収 朔 间	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		H27.7.1 ∼ H27.7.8	ND	ND	0.089	ND							
		H27.7.8 ∼ H27.7.15	ND	ND	0.064	ND							
		H27.7.15 ∼ H27.7.22	ND	0.031	0. 11	ND							
		H27.7.22 ∼ H27.7.29	ND	0.038	0. 15	ND							
		H27.7.29 ∼ H27.8.5	ND	ND	0. 14	ND							
	じさ ばら	H27.8.5 ∼ H27.8.12	ND	ND	0.072	ND							
36	南相馬市 橲 原	H27.8.12 ∼ H27.8.19	ND	0.026	0.085	ND							
	(簡易型ダストサンプラー)	H27.8.19 ∼ H27.8.26	ND	ND	0.067	ND							
		H27.8.26 \sim H27.9.2	ND	ND	0.074	ND							
		H27.9.2 ∼ H27.9.9	ND	0.039	0.18	ND							
		H27. 9. 9 ∼ H27. 9. 16	ND	ND	0.063	ND							
		H27.9.16 ∼ H27.9.24	ND	0.023	0.072	ND							
		H27.9.24 ∼ H27.9.30	ND	ND	0.065	ND							

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 ろ紙の灰化処理はせず、ろ紙を直接U8容器で測定した。

4 *1 試料を採取できなかったため欠測

ウ 降下物の核種濃度

No.	地点名	採取期間				核	種	濃 度	(MBq/	$/\mathrm{km}^2$)			
100.	地 点 右	1木 収 朔 间	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		H27.7.7 ∼ H27.8.3	ND	ND	ND	ND							
1	いわき市 川 前	H27.8.3 ∼ H27.9.2	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.2 ∼ H27.10.7	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.7 ∼ H27.8.3	ND	ND	ND	ND							
2	いわき市 久之浜	H27.8.3 ∼ H27.9.2	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.2 ∼ H27.10.9	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.6 ∼ H27.8.4	ND	ND	ND	ND							
3	田村市 都路	H27.8.4 ∼ H27.9.3	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.3 ∼ H27.10.7	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.6 ∼ H27.8.3	ND	ND	ND	ND							
4	広野町 下北迫	H27.8.3 ∼ H27.9.2	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.2 ∼ H27.10.9	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.13 ∼ H27.8.5	ND	ND	ND	ND							
5	楢葉町 繁 岡	H27.8.5 ∼ H27.9.9	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.9 ∼ H27.10.9	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.1 ∼ H27.8.3	ND	16	74	ND							
6	富岡町 富 岡	H27.8.3 ∼ H27.9.1	ND	ND	55	ND							
		H27.9.1 ∼ H27.10.1	ND	ND	35	ND							
		H27.7.6 ∼ H27.8.4	ND	ND	ND	ND							
7	かみかわうち 川内村 上川内	H27.8.4 ∼ H27.9.3	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.3 ∼ H27.10.7	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.1 ∼ H27.8.3	ND	ND	94	ND							
8	大熊町 大野	H27. 8. 3 ∼ H27. 9. 1	ND	ND	51	ND							
		H27.9.1 ∼ H27.10.1	ND	ND	41	ND							
		H27.7.13 ∼ H27.8.5	ND	58	260	ND							
9	双葉町 郡 山	H27.8.5 ∼ H27.9.9	ND	ND	74	ND							
		H27.9.9 ∼ H27.10.9	ND	30	130	ND							

No.	地点	名	採取期間				核		濃 度	(MBq/	/km ²)			
INO.	7E /K	70	1木 以 均 1 [F]	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
			H27.7.13 ∼ H27.8.5	ND	ND	ND	ND							
10	浪江町	なみ え 江	H27.8.5 ∼ H27.9.9	ND	ND	ND	ND							
			H27.9.9 ∼ H27.10.8	ND	25	110	ND							
			H27.7.6 ∼ H27.8.6	ND	60	270	ND							
11	浪江町	きる。	H27.8.6 ∼ H27.9.9	ND	ND	110	ND							
			H27.9.9 ∼ H27.10.8	ND	ND	41	ND							
			H27.7.6 ∼ H27.8.4	ND	ND	ND	ND							
12	葛尾村	かしわばら	H27.8.4 ∼ H27.9.3	ND	ND	76	ND							
			H27.9.3 ∼ H27.10.7	ND	ND	42	ND							
			H27.7.9 ∼ H27.8.10	ND	ND	25	ND							
13	南相馬市	馬場	H27. 8. 10 ∼ H27. 9. 7	ND	ND	ND	ND							
			H27.9.7 ∼ H27.10.8	ND	ND	50	ND							
			H27.7.9 ∼ H27.8.10	ND	81	340	ND							
14	南相馬市	るく うら 浦	H27. 8. 10 ∼ H27. 9. 7	ND	ND	ND	ND							
			H27. 9. 7 ∼ H27. 10. 9	ND	ND	ND	ND							
			H27.7.9 ∼ H27.8.10	ND	ND	ND	ND							
15	南相馬市	原町	H27. 8. 10 ∼ H27. 9. 7	ND	ND	ND	ND							
			H27.9.7 ∼ H27.10.8	ND	ND	ND	ND							
			H27.7.6 ∼ H27.8.6	ND	ND	8.3	ND							
16	飯舘村	いたみざわ	H27.8.6 ∼ H27.9.9	ND	ND	ND	ND							
			H27. 9. 9 ∼ H27. 10. 8	ND	ND	ND	ND							
			H27.7.6 ∼ H27.8.6	ND	ND	ND	ND							
17	川俣町	ゃまきゃ 山木屋	H27.8.6 ∼ H27.9.9	ND	ND	ND	ND							
			H27. 9. 9 ∼ H27. 10. 8	ND	ND	ND	ND							

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 採取全量から2L分取し、2Lマリネリで測定した。

4 平成27年9月採取分の検体から測定時間を21,600秒から80,000秒に変更した。

エ 環境試料中の全ベータ放射能及び核種濃度

試料名	種類又は		採取地点番号 及び採取地点の名称	採取 年月日	単位	全ペータ放射能					;	核	種		濃	Į	É											天然 核種
	部位		20 M-M-21M-3-11	1246		測定値	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	^{110m} Ag	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	$^{3}\mathrm{H}$	¹³¹ I	⁸⁹ Sr	90Sr	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	$^{241}\mathrm{Am}$	$^{244}\mathrm{Cm}$	$^{40}\mathrm{K}$
		1	いわき市	H27.7. 27		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	/	/	/	/	/	/	ND							
		2	田村市	H27. 7. 29		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	/	/	/	/	/	/	ND							
		3	広 野 町	H27.7. 27		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	/	/	/	/	/	/	ND							
		4	楢葉町	H27.7. 27		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.52	/	/	/	/	/	/	/	ND							
		5	富 岡 町*1	H27.7. 27		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	/	/	/	/	/	/	/	ND							
		6	川 内 村	H27.7. 29		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	/	/	/	/	/	/	ND							
上 水	蛇口水	7	大熊町*2	_	Bq/ℓ	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
		8	双 葉 町*2	_		_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	-	_	_	_	_	-	_	_	_	_
		9	浪 江 町	H27.7. 27		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	/	/	/	/	/	/	/	ND							
		10	葛 尾 村	H27.7. 29		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	/	/	/	/	/	/	ND							
		11	南相馬市	H27.7. 27		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	/	/	/	/	/	/	ND							
		12	飯 舘 村	H27.7. 29		/	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	0.55	/	/	/	/	/	/	/	ND							
		13	川俣町	H27.7. 29		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	/	/	/	/	/	/	/	ND							

試料名	種類又は		採取地点番号 及び採取地点の名称	採取 年月日	単位	全ペータ放射能					ŧ	亥	種		濃	Į	变											天然 核種
	部位		20 DK4K2EJM*224E4F	1711		測定値	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	^{110m} Ag	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	³ H	¹³¹ I	⁸⁹ Sr	90Sr	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	$^{241}\mathrm{Am}$	²⁴⁴ Cm	$^{40}\mathrm{K}$
				H27.7. 21		0.03	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	/	/	0.014	ND	ND	/	/	12							
		1	第一(発)南放水口*3	H27.8.17		0.04	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	ND	/	/	0.037	ND	ND	/	/	10							
				H27. 9. 14		0.05	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	0.55	/	/	0.031	ND	0.006	/	/	10							
				H27.7. 21		0.31	ND	ND	ND	0.19	0.67	ND	1.9	/	/	0.76	ND	ND	/	/	12							
		2	第一(発)北放水口	H27. 8. 17		0.05	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	ND	/	/	0.10	ND	ND	/	/	10							
				H27. 9. 14		0.03	ND	ND	ND	0.21	1.0	ND	ND	/	/	0.003	ND	ND	/	/	9. 4							
				H27.7. 21		0.37	ND	ND	ND	0.22	0.83	ND	2.6	/	/	0.68	ND	ND	/	/	11							
		3	第一(発)取水口	H27. 8. 17		0.19	ND	ND	ND	0.13	0.48	ND	1.1	/	/	0.46	ND	ND	/	/	11							
				H27. 9. 14	Bq/@	0.03	ND	ND	ND	ND	0.087	ND	ND	/	/	0.002	ND	ND	/	/	9.6							
海水	表面水			H27.7. 21	Dq/ C	0.02	ND	ND	ND	ND	0.054	ND	ND	/	/	0.002	ND	ND	/	/	11							
	3CH171	4	第一(発)沖合 2km	H27.8.17	Puは mBq/0	0.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	/	0.001	ND	ND	/	/	12							
				H27. 9. 14	mile q/ c	0.02	ND	ND	ND	ND	0.052	ND	ND	/	/	0.002	ND	ND	/	/	9. 4							
				H27.7. 21		0.03	ND	ND	ND	ND	0.061	ND	ND	/	/	0.004	ND	ND	/	/	11							
		5	夫沢・熊川沖 2km	H27.8. 17		0.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	/	0.002	ND	ND	/	/	11							
				H27. 9. 14		0.03	ND	ND	ND	0.067	0.31	ND	ND	/	/	0.009	ND	ND	/	/	9. 6							
				H27.7. 21		0.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	/	0.002	ND	ND	/	/	11							
		6	双葉・前田川沖 2km	H27.8.17		0.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	/	0.001	ND	ND	/	/	9. 9							
				H27. 9. 14		0.02	ND	ND	ND	ND	0.082	ND	0.47	/	/	0.001	ND	ND	/	/	9. 2							
		7	第二(発)南放水口	H27.8. 12		0.03	ND	ND	ND	ND	0.076	ND	ND	/	/	/	/	/	/	/	12							
		8	第二(発)北放水口	H27.8. 12		0.03	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	ND	/	/	/	/	/	/	/	12							
		1	第一(発)南放水口*3	H27.8. 17		/	ND	ND	ND	86	350	ND	/	/	/	0.42	測定中	測定中	/	/	470							
	<u> </u>	2	第一(発)北放水口	H27.8.17		/	ND	ND	ND	79	320	ND	/	/	/	0.34	測定中	測定中	/	/	550							
		3	第一(発)取水口	H27.8.17		/	ND	ND	ND	140	580	ND	/	/	/	1.3	測定中	測定中	/	/	510							
海底沈積物	海 砂 または	4	第一(発)沖合 2km	H27.8. 17	Bq/kg乾	/	ND	ND	ND	10	43	ND	/	/	/	0.35	測定中	測定中	/	/	490							
100 mm 100 100	海底土	5	夫沢・熊川沖 2km	H27.8. 17	MOTU	/	ND	ND	ND	9.9	41	ND	/	/	/	0. 55	測定中	測定中	/	/	480							
		6	双葉・前田川沖 2km	H27. 8. 17		/	ND	ND	ND	11	42	ND	/	/	/	0. 24	測定中	測定中	/	/	420							
		7	第二(発)南放水口	H27. 8. 12		/	ND	ND	ND	27	110	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	470							
		8	第二(発)北放水口	H27.8. 12		/	ND	ND	ND	19	76	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	430							

試料名		種類又は		採取地点 及び採取地点		採取 年月日	単位	全べっか放射能					i	亥	種		濃	Į	度											天然 核種
		部位		X O DK-JK-EM		7		測定値	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	^{110m} Ag	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	^{3}H	¹³¹ I	⁸⁹ Sr	90Sr	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	$^{241}\mathrm{Am}$	$^{244}\mathrm{Cm}$	$^{40}\mathrm{K}$
			1	いわき市	ひきのはま 久之浜	H27. 9. 1		/	ND	ND	ND	ND	12	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			2	田村市	かるみち 古道	H27. 9. 3		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			3	広野町	かみきたば 上北迫	H27. 9. 1		/	ND	ND	ND	ND	7. 7	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			4	楢葉町	なみくら 波倉	H27. 9. 1		/	ND	ND	ND	90	380	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			5	富岡町	下郡山	H27. 9. 1		/	ND	ND	ND	210	840	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			6	川内村	上川内	H27. 9. 3		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			7	大熊町	まっとぎゃ 夫沢	H27. 9. 24		/	ND	ND	ND	1,000	4, 200	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
松	葉	葉	8	大熊町	大川原	H27. 9. 24	Bq/kg生	/	ND	ND	ND	21	110	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			9	双葉町	郡山	H27. 9. 24		/	ND	ND	ND	91	370	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			10	浪 江 町	北幾世橋	H27. 9. 24		/	ND	ND	ND	ND	30	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	130							
			11	葛尾村	かしわばら	H27. 9. 3		/	ND	ND	ND	15	46	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			12	南相馬市	うらじり 浦尻	H27.8. 31		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			13	飯舘村	蕨平	H27.8. 31		/	ND	ND	ND	52	210	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			14	飯舘村	長泥	H27.8. 31	1	/	ND	ND	ND	61	280	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							
			15	川俣町	山木屋	H27. 8. 31		/	ND	ND	ND	12	53	ND	/	ND	/	/	/	/	/	/	ND							

- (注) 1 「ND」: 検出限界未満 「/」: 対象外核種 「一」: 欠測
 - 2 第一(発):東京電力㈱福島第一原子力発電所 第二(発):東京電力㈱福島第二原子力発電所
 - 3 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。
 - 4 上水及び海水は、試料を直接2Lマリネリで測定した。松葉は灰化せず、生試料をU8容器で測定した。
 - 5 *1 事故前の採取地点である富岡町役場が水道未復旧であり、代替地点として富岡南配水池で採取したため、測定値については参考値扱いとする。
 - 6 *2 水道未復旧のため試料を採取できず、欠測となった。
 - 7 *3 震災前まで採取していた場所における試料採取が困難と判断したため、敷地境界の南側から採取した。

4 比較対照地点の測定結果

(1) 空間線量率

	測定	年 月		平成 27	年7月			平成 27	年 8 月			平成 27	年 9 月	
	測定	項目		空間	泉量率			空間	泉量率			空間	泉量率	
	測 定	値	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	平均值	最大値	測定時間	備考
No.	地。	点 名	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	
1	福島市	もみじやま。1	155	170	744		154	174	744		148	165	720	
	油品川	^{もみじやま} *1 紅葉山 ^{*1}	169	179	743	停電/1	168	188	744		160	173	720	
2	郡山市	ひねだ田	172	194	744		172	194	744		166	178	720	
3	いわき市	たいら	70	85	744		70	90	744		69	80	720	

注) 1 *1 上段は比較対象地点として高さ2.5m地点で測定した値、下段は参考として高さ1m地点で測定した値

(2) 環境試料

ア 大気浮遊じんの核種濃度

No.	地点名	採取期間				核	種	濃度	(mBq/m ³	3)			
110.	地流行	水 坎 朔 间	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		H27.7. 21 ∼ H27.7. 22	ND	ND	ND	0.17	ND						
1	福島市 方 木田	H27.8. 19 ∼ H27.8. 20	ND	ND	ND	ND	ND						
		H27.9. 14 ∼ H27.9. 15	ND	ND	ND	0.060	ND						
		H27.7. 23 ∼ H27.7. 24	ND	ND	ND	ND	ND						
2	会津若松市 追手 軒	H27.8. 24 ∼ H27.8. 25	ND	ND	ND	ND	ND						
		H27.9. 14 ∼ H27.9. 15	ND	ND	ND	ND	ND						
		H27.7. 14 ~ H27.7. 15	ND	ND	ND	ND	ND						
3	郡山市 雄や並	H27.8. 11 ∼ H27.8. 12	ND	ND	ND	ND	ND						
		H27.9. 9 ∼ H27.9. 10	ND	ND	ND	ND	ND						
		~											
4	いわき市 だいら 平	~											
		~											
		H27.7. 14 ~ H27.7. 15	ND	ND	ND	ND	ND						
5	白河市 昭和 町	H27.8. 11 ∼ H27.8. 12	ND	ND	ND	ND	ND						
		H27.9. 9 ∼ H27.9. 10	ND	ND	ND	ND	ND						
		\sim											
6	南相馬市 嬉り	~											
		\sim											
		H27.7. 21 \sim H27.7. 22	ND	ND	ND	ND	ND						
7	相馬市 たまの 玉 野	H27.8. 19 ∼ H27.8. 20	ND	ND	ND	ND	ND						
		H27.9. 16 ∼ H27.9. 17	ND	ND	ND	0.10	ND						
		H27.7. 21 \sim H27.7. 22	ND	ND	ND	ND	ND						
8	伊達市 富成	H27.8. 19 ∼ H27.8. 20	ND	ND	ND	ND	ND						
		H27.9. 16 ∼ H27.9. 17	ND	ND	ND	0.13	ND						
		H27.7. 27 ∼ H27.7. 28	ND	ND	ND	ND	ND						
9	南会津町 ただ 島	H27.8. 24 ∼ H27.8. 25	ND	ND	ND	ND	ND						
		H27.9. 14 ∼ H27.9. 15	ND	ND	ND	ND	ND						

- (注) 1 「ND」: 検出限界未満
 - 2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。
 - 3 いわき市平及び南相馬市橲原は、それぞれ平成26年11月5日及び平成26年12月10日から強化モニタリングの対象としたため、発電所周辺環境モニタリングに移記した。
 - 4 ろ紙の灰化処理はせず、ろ紙を直接U8容器で測定した。

イ 大気中水分のトリチウム濃度

				トリチワ	ウム濃度	備考
N	No.	地点名	採取期間	大気中濃度 (mBq/m³)	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/ℓ)	大気中水分量 (g/m³)
			H27.7. 1 ∼ H27.8. 3	8. 0	0.49	16
	1	福島市 芳 素 荒	H27.8. 3 ∼ H27.9. 1	ND	ND	18
			H27.9. 1 ∼ H27.10. 1	ND	ND	16

ウ 降下物の核種濃度

No.	地点名	採取期間				核	種	濃 度	(MBq/km	2)			
INO.	地点有	1木 収 朔 间	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce
		H27.7.1 ∼ H27.8.3	ND	2. 1	7. 9	ND							
1	福島市 方木田	H27. 8. 3 ∼ H27. 9. 1	ND	2.3	9.0	ND							
		H27. 9. 1 ∼ H27. 10. 1	ND	1.5	5.9	ND							
		H27.7.8 ∼ H27.8.6	ND	ND	ND	ND							
2	会津若松市 逍季 軒	H27.8.6 ∼ H27.9.8	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.8 ∼ H27.10.6	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.2 ∼ H27.8.5	ND	ND	6.2	ND							
3	郡山市 麓山 *1	H27.8.5 ∼ H27.9.7	ND	ND	5.0	ND							
	,, = .	H27.9.7 ∼ H27.10.6	ND	4.5	19	ND							
		H27.7.7 ∼ H27.8.3	ND	ND	ND	ND							
4	いわき市	H27.8.3 ∼ H27.9.2	ND	7.4	34	ND							
		H27.9.2 ∼ H27.10.5	ND	ND	3. 2	ND							
		H27.7.2 ∼ H27.8.5	ND	ND	4.5	ND							
5	白河市 昭和町	H27.8.5 ∼ H27.9.7	ND	17	66	ND							
		H27.9.7 ∼ H27.10.6	ND	ND	ND	ND							
		H27.7.9 ∼ H27.8.10	ND	4.6	17	ND							
6	相馬市 たまの 玉 野	H27.8.10 ∼ H27.9.7	ND	ND	8.8	ND							
		H27. 9. 7 ∼ H27. 10. 5	ND*2	ND^{*2}	ND*2	ND*2	ND^{*2}	ND^{*2}	ND*2	ND^{*2}	3. 4*2	13*2	ND*2
	l er li in	H27.7.9 ∼ H27.8.10	ND	8.0	30	ND							
7	伊達市 當成	H27. 8. 10 ∼ H27. 9. 7	ND	ND	7.9	ND							
		H27. 9. 7 ∼ H27. 10. 5	ND	26	120	ND							
		H27.7.6 ∼ H27.8.6	ND	ND	3.6	ND							
8	川俣町ねった	H27.8.6 ∼ H27.9.9	ND	ND	6.0	ND							
		H27.9.9 ∼ H27.10.5	ND	ND	2. 3	ND							
	, ·	H27.7.8 ∼ H27.8.6	ND	ND	ND	ND							
9	南会津町 世島	H27.8.6 ∼ H27.9.8	ND	ND	ND	ND							
		H27.9.8 ∼ H27.10.6	ND	ND	ND	ND							

- (注) 1 「ND」: 検出限界未満
 - 2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。
 - 3 採取全量を2Lまで濃縮し、2Lマリネリで測定した。ただし、No.1福島市方木田のみ、U8容器で乾固させ測定した。
 - 4 *1 採取地点を郡山市朝日から変更。
 - 5 *2 台風の影響により採取用水盤から降水があふれたため、測定結果は参考値として取り扱う。

エ 環境試料中の核種濃度

	試料名	種類 又は 部位			採取及び	取地点番 採取地/			採取 年月日	単位	全ペーク放射能測定値							į	核	種		濃	度	Ē							天然 核種
		DD/IV.									例是胆	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	$^{95}\mathrm{Zr}$	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	^{110m} Ag	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	³ H	131 I	⁸⁹ Sr	90Sr	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	⁴⁰ K
			1	福	島	市	柞	ぎっままり	H27. 9.15		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	20	85	ND	/	ND	/	/	/	/	130
			2	郡	山	市		は や ま ・ 山	H27. 9.15		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16	52	ND	/	ND	/	/	/	/	ND
松	葉	葉	3	白	河	市	r R	アンドラヤ まち 田 町	H27. 9.15	Bq/kg生	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7. 2	22	ND	/	ND	/	/	/	/	67
			4	会 津	若	松市	り	じょうとうまち 東 町	H27. 9.14		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4. 5	ND	/	ND	/	/	/	/	96
			5	南 纽	注	生町		ながた 田	H27. 9.14		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	/	ND	/	/	/	/	ND

⁽注) 1 「ND」: 検出限界未満 「/」: 対象外核種

² 松葉は灰化せず、生試料をU8容器で測定した。

試料採取時の付帯データ集 (原子力発電所周辺等環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (℃)	水温 (℃)	рΗ
1	いわき市	H27.7.27	31.6	25.0	7.5
2	田村市	H27.7.29	27.0	24.0	7.9
3	広 野 町	H27.7.27	31.3	24.0	7.4
4	楢葉町	H27.7.27	30.2	25.5	7.0
5	富岡町	H27.7.27	32. 3	22.0	7.3
6	川内村	H27.7.29	28. 7	20.0	7.4
7	大 熊 町	_	-	-	_
8	双葉町	_	1	1	_
9	浪 江 町	H27.7.27	32.4	25.0	7. 7
10	葛 尾 村	H27. 7. 29	27.0	21.5	8.3
11	南相馬市	H27.7.27	28.7	25.5	7.3
12	飯 舘 村	H27.7.29	27. 1	25.0	7.5
13	川俣町	H27. 7. 29	27. 1	27.0	7.3

2 海水

-						
No.	採取地点名	採取年月日	気温 (℃)	水温 (℃)	рΗ	Cℓ [−] (‰)
		H27.7. 21	20.0	17.9	8.2	18.0
1	第一(発)南放水口	H27.8.17	25. 0	25.0	8.2	18.0
		H27.9. 14	22.0	21.5	8.2	16.0
		H27.7. 21	20.0	19.7	8.2	18.0
2	第一(発)北放水口	H27.8.17	26.0	25. 2	8.2	18.0
		H27.9. 14	21.8	21.5	8.2	15.0
		H27.7. 21	20.0	18.2	8.2	18.0
3	第一(発)取水口	H27.8.17	25. 5	24.9	8.2	18.0
		H27.9. 14	21.5	21.5	8.3	15.0
		H27.7. 21	20.0	19.0	8.2	18.0
4	第一(発)沖合	H27.8.17	25.0	25.4	8.2	17.0
		H27.9. 14	21. 5	21.5	8.3	15.0
		H27.7. 21	20.0	19.2	8.2	18.0
5	夫沢・熊川沖	H27.8.17	25.0	25. 2	8.2	17.0
		H27.9. 14	22.0	21.4	8.2	15.0
		H27.7. 21	20.5	20.0	8.2	18.0
6	双葉・前田川沖	H27.8.17	26.0	25. 4	8.2	17.0
		H27.9. 14	21.0	21.8	8.3	15.0
7	第二(発)南放水口	H27.8. 12	30. 3	26.4	8.0	18.0
8	第二(発)北放水口	H27.8. 12	29. 1	26.9	8.0	18.0

環境試料放射能測定方法詳細一覧表

(ガンマ線放出核種濃度・トリチウム濃度・ストロンチウム-90濃度)

平成27年12月8日 福島県環境創造センター

項目	試料名	簡易型ダストサンプラー(福島第一原	大気を	事進じん		-	陸土		海水	
7 -	林稚	テカ発電所から30km圏内)	(比較地点※1)	連続ダストモニタ 、Cs=137	リアルタイムダストモニタ	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90
	採取方法	ハイボリュームエアサンプラーに。 ・接取位置地表上的1m ・使用ろ紙-GB-100R		ダストモニタによる連続採取 ・採取位置地表上約2~3m ・使用ろ紙・IE-40T	ダストモニタによる連続採取 -採取位置・地表上約2m - 使用ろ紙1OAM/ROLL (フィルターコードFSLW)	採取はU8容器を用い、裸未耕土の表層深さ(Ommから50mm)から一地点あたり5箇	探取はU8容器を用い、様 未耕土の表層深さ(0mm から50mm)から一地点易 たり5箇所とり、約100g程取する。 (福島市・産研究所及 び会連若松市・会津大学 についてはま土器を使 用、0~50mmで1kg程度、 福島市のみ50~300mmで 計5kg程度)	海面より深さ1mにホース	海面より深さ1mにホース を入れ、ポンプにて1Lポリ ピンに採取する。	海面より深さ1mにホース
試料採取	採取容器	ろ紙(GE	B-100R)	ろ紙 (HE-40T)	ろ紙(:ICAM/ROLL (フィルターコード:FSLW))	U8	U8(採土器使用の場合は ビニール袋)	ポリビン	ポリビン	ポリタンク
	採取量	約1,1	150m ³	約11,000m ³	約1,250m ³	約100g×5	約100g×5(採土器使用 の場合は約1.2kg×5)	2L	1L	40L
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を 実施しているか)	ts	il	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	ろ紙が触れる部分を使用毎に洗浴	浄している。	試料毎に分けて採取している。	試料毎に分けて採取している。	U8容器を直接土壌に 埋め込む。U8容器は 使い捨て。	U8容器を直接土壌に埋め込む。U8容器は使い捨て。採土器は共用で採取の都度、洗浄を行っている。	採取容器については、採 取地点毎に新品の容器を 使用し、試料水にて共洗 いを実施している。	採取容器については、採 取地点毎に新品の容器を 使用し、試料水にて共洗 いを実施している。	採取容器については、採 取地点毎に新品の容器を 使用し、試料水にて共洗 いを実施している。
	方法	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めて	TU8容器底面に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙の集じん 箇所を打ち抜き型を用いて打ち 抜き、U8容器に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸 めてU8容器に収納する。	採取したU8容器をビ ニールで密閉し、その まま測定する。 5地点 の平均を値とする。	ー昼夜程度自然乾燥させ、105℃に調整した乾燥機で乾燥し放冷し、インクリメント縮分方法により縮分した式料を用いてイオン交換法	撹拌を行う	減圧蒸留法	イオン交換法
前処理	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際 に、試料を分取して測 定している場合)	ろ紙を全量丸めてU8容器底面にJ	収納する。	500をミリの円の中心から470ミ リと打ち抜き88.36%を採取する。 ろ紙には均一に採取されている。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸 めてU8容器に収納する。	5地点で採取した試料 を全量測定すること で、インクリメント縮分 に代えている。	1地点当たり数箇所から 採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等 に分取している。(インクリメント縮分法)	採取容器から全量を測定 容器(マリネリ)に移す。	震災前と変更なし	震災前と変更なし
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	・U8容器は、新品を使用しラッピ	ングしている。	・打ち抜きに使用する器具は、 検体毎に洗浄している。 ・U8容器は、新品を使用しラッ ピングしている。	・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	U8容器を包むビニー ルは表面が汚染する 可能性があるので、さ らにその上からビニー ルを被せる。	・試料毎に前処理皿は新品を使用している。 ・試料処理毎に汚染確認を行い、問題ないことを確認している。	測定容器(マリネリ内)を 養生するビニール袋は測 定の都度新品に交換して いる。	濃度により前処理の建物 を分けている	・試料毎に前処理容器は 新品または洗浄品を使用 している。 ・試料処理毎に汚染確認 を行い、問題ないことを確 認している。
	測定装置		Ge半導体	↓ 本検出装置	1	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド ガスフロー計数装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体 シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガス フロー計数装置
	測定試料状態		:	生		湿土	乾土	生	生	生
	測定容器			容器	T	U8容器	ステンレス皿(25mm φ)	2Lマリネリ容器	100mlテフロンバイアル	ステンレス皿(25mm φ)
	供試料		約1150m ³ /24h 数:1枚)	測定吸気量:約90m ³ /6h (ろ紙枚数:約124枚)	測定吸引量:約10.5m ³ /6h(ろ紙 枚数:約124枚)	約100g	100g	2L	50g	40L
	測定時間	3.600秒	20,000秒	3,600秒	50,000秒	3,600秒	3,600秒	80,000秒	500分	3,600秒
測定	測定下限値 測定時間の設定理由	約0.2~0.3mBq/m3 原子カセン	約0.03~0.08mBq/m ² 3 ターは検体数が多いため、測定F	約0.04~0.06mBq/m° 可能な時間、Cs核種の検出を考慮	約0.05~0.08mBq/m ³ し採用した。	約5~20Bq/kg湿 Cs核種が検出される 時間に設定。	約0.2~0.5Bq/kg 震災前と変更なし	約0.05~0.1Bq/L 震災前の測定時間として いる。	約0.32~0.46Bq/L 震災前と変更なし	約0.0007~0.01Bq/L 震災前と変更なし
	測定下限値の設定理由	3,600秒測定したときの数値である。	20,000秒測定したときの数値で ある。	3,600秒測定したときの数値であ る。	50,000秒測定したときの数値で ある。	3,600秒測定したとき の数値である。	震災前と変更なし	震災前と同様の測定時間 で得られる検出下限値。	震災前と変更なし	震災前と変更なし
	測定値の補正計算法 (半級期、含水率など)	震災前と同様に核種毎の半減期 の測度としている。	l	震災前と同様に核種毎の半減 期による補正を行い、試料採取 日の濃度としている。 集度前に僅50mm)に対し、測 定資料としては64mmの円に カットしているため、放射能濃度 に面積補正(1.13)を行ってい る。	核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の濃度としている。	震災前と同様に核種	震災前と変更なし	震災前と同様に核種毎の 半減期による補正を行 い、試料採取日の濃度と している。	震災前と変更なし	震災前と変更なし
	測定におけるコンタミ防 止とその確認法	定期的に	こGe半導体検出器においてBG測	定を行い、汚染のないことを確認し	ている。	出器においてBG測定 を行い、汚染のないこ とを確認している。	試料毎に新品のステンレ ス皿を使用し、検出器の 汚染については、測定時 にBG測定を行っている。	器においてBG測定を行い、汚染のないことを確	試料毎に新品のバイアル 瓶を使用し、検出器の汚 染については、測定時に BG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の 汚染については、測定時 にBG測定を行っている。
	使用線源		Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-	-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイントープ協会製造の	JCSS校正証明書付きの標準線派	Cd-109、Co-57,60、 Ce-139、Cr-51、Sr- 85、Cs-137、Mn-54、 Y-88	Sr-90	Cd-109、Co-57.60、Ce- 139、Cr-51、Sr-85、Cs- 137、Mn-54、Y-88	H-3	Sr-90
校正	線源校正頻度	(年1日])Co線源や混合線源(U8・マリネ・	リ)で幾何効率校正と計数効率校正	Eを実施	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率 校正 (1年毎)JCAC分析確認調査 時使用試料にて効率確認。	(年1回)Co線源や混合 線源(U8・マリネリ)で幾何 効率校正と計数効率校正 を実施		(納入時)メーカーにて効率 校正 (1年毎)JCAC分析確認調査 時使用試料にて効率確認。
	BG測定頻度		月1回:	200,000秒		月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度
事故後の測	定法の採用理由		震災前の環	境放射能測定マニュアルに準拠し	つつ、測定可能な方法(測定器、)	環境)を考慮し採用した。			-	なし
マニュアル	(事故前)との違い	ろ紙の灰化	処理をしていない。(震災後はろ乱	紙直接測定)	震災前は実施していない。	自然乾燥含め乾燥作業はしていない。	なし	リンモリブデン酸アンモニ ウム法及び二酸化マンガ ン共沈法を用いた前処理 をしていない。(採取した 海水を直接マリネリ容器 にて測定)	なし	なし
マニュアル 理由	(事故前)に戻せない	高濃度から低濃度まで様々なた& は検体数が多く前処理・測定時間	め、灰化した場合にコンタミの恐れ 別の延長に対応できない。	がある。さらに、原子力センター	震災前は実施していない。	高濃度から低濃度まで様々なため、乾燥した際にコンタミの恐れがある。さらに、検承カセンターは後線度時間の延長に対応できない。	-	サンブル数が多くて対応できない	-	-
その他、日 題となって(頃、分析を行う上で課 いる事項	測定地点の整理(測定継続の有) 継続の場合、分析方法の検討(意 の整理)	無)。 震災前の方法を目指す物と緊急時	テモニタリングの方法を継続する物	分析方法の検討(ろ紙の灰化処理の実施等。)	測定地点の整理(測 定継続の場合、分析方 法の検討(震災前の 方法の検討(震災前の 方法の検討(震災前の 方法を継続する物の整 理)	-	震災前の前処理方法への移行方法と移行方法と移行時期。 試料数とそれに対応する 設備・器具・分析員の手配。	-	-

	試料名	海車土		松葉 福島第一原子力発電所から90km 田内		降下物			- 施水
項目						福島第一原子力発電所から30km 開内 比較地点※1 比較地点(福島市方木田)			
	検 種 採取方法	Oa-134、Oa-137 採泥器により、バケツに採取する。	Sr-90 採泥器により、バケツに 採取する。	Ce-134. 採取地点付近にある樹木より		建物屋上に水盤を設置し、	Oe-134、Oe-137 1ヶ月後に盤内の水を全量採	取する。	Ce-134、Ce-137 各地点の上水(水道水)を蛇口よりポリタン クに採取。
試料採取	採取容器	バケツ	バケツ	ビニール袋		ポリタンク			ポリタンク
	採取量	3kg程度	3kg程度	40g	40g程度		降水量により異なる		
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を 実施しているか)	なし	なし	なし		なし			なし
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	使用毎に洗浄している	採泥袋は地点毎に新品を 使用し、採泥器は使用毎 に洗浄している。	採取地点毎に新品の袋に採取している。		容器は据え置き又は地点毎に専用としている。	地点毎に専用としている。	容器は据え置き。	容器は新品を使用する。
前処理	方法	105℃の乾燥機にて乾燥させ、インクリメント縮分方法により縮分する。	105°Cに調整した乾燥機 で乾燥し放冷し、インクリ メント縮分方法により縮分 した試料を用いてイオン 交換法	松葉の入ったビニール袋を丸めてU8容器に収納する。 (灰化せず生状態で測定)		均一になるようにかき混ぜ ながら、2L分取する。	全量をガスコンロで2Lまで 濃縮する。	全量をガスコンロで濃縮し、 残渣をU8容器に採取する。	無し
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際 に、試料を分取して測 定している場合)	1地点当たり数箇所から採取した 試料を混合し、さらに、その試料 から均等に分取している。(インク リメント縮分法)	1地点当たり数箇所から 採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等 に分取している。(インクリメント縮分法)	採取時点で40gを全量U8容器に入れる		撹拌を行う	なし		提拌を行う
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	試料毎に、U8容器は新品を使用 しラッピングしている。	・試料毎に前処理皿は新品を使用している。 ・試料処理毎に汚染確認を行い、問題ないことを確認している。	試料毎に、U8容器は新品を使用しラッピングしている。		測定容器(マリネリ内)を養生 度新品に交換している。	容器(マリネリ内)を養生するビニール袋は測定の都 品に交換している。		測定容器(マリネリ内)を養生するビニール 袋は測定の都度新品に交換している。
	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド ガスフロー計数装置	Ge半導体検出装置		Ge半導体検出装置		!	Ge半導体検出装置
	測定試料状態	乾土	乾土	生		:	生	乾	生
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mm φ)	U8容器		2Lマリネリ容器		U8容器	2Lマリネリ容器
	供試料	約100g	100g	約.	約 40g		2L		2L
	測定時間	80,000秒	3,600秒	3,600秒 10,800秒		21,600秒		80,000秒	80,000秒
測定	測定下限値	約0.5~1.5Bq/kg乾	約0.15~0.25Bq/kg	約6~10Bq/Kg生	約4~6Bq/Kg生	降水量により異なる	約2.0~4.0MBq/km²	約0.1~0.2MBq/km²程度	約0.05~0.1Bq/L
	測定時間の設定理由	震災前の測定時間としている。	震災前と変更なし	原子力センターは検体数が多いため、測定可能な時間、 Cs核種の検出を考慮し採用した。		原子力センターは検体数が多いため、測定可能な時間、Ce核種の検出を考慮し採用した。		震災前の測定時間としている。	
	測定下限値の設定理由	震災前と同様の測定時間で得ら れる検出下限値。	震災前と変更なし	3,600秒測定したときの数値 である。	10,800秒測定したときの数 値である。	降水量により大きく変わるため、分取して21,600秒測定したものを下限とする。	21,600秒測定したときの数 値である。	震災前と同様の測定時間で 得られる検出下限値。	震災前と同様の測定時間で得られる検出下 限値。
	測定値の補正計算法 (半減期、含水率など)	震災前と同様に核種毎の半減期 による補正を行い、試料採取日の 濃度としている。	震災前と変更なし	震災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料 接取日の濃度としている。 なお、灰化率の補正は未実施である。		意災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の温度としている。			震災前と同様に核種毎の半減期による補正 を行い、試料採取日の濃度としている。
		定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の 汚染については、測定時 にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
	使用線源	Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr- 51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	Sr-90	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88		Cd-109, Co-57, 60, Ce-139, Cr-51,Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88		Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr- 85、Cs-137、Mn-54、Y-88	
	日本アイソ			日本アイソトープ協会製造	日本アイソトーブ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。				
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8-マリネリ)で幾何効率校正と計数 効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率 校正 (1年毎)JCAC分析確認調査 時使用試料にて効率確認。	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		(年1回)Co総源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ) で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 200,000秒		月1回 200,000秒			月1回 200,000秒
事故後の測定法の採用理由		-	なし	震災前の環境放射能測定マニュアルに準拠しつつ、測定 可能な方法(測定器、環境)を考慮し採用した。		震災前の環境放射能測定マニュアルに準拠しつつ、測定 可能な方法(測定器、環境)を考慮し採用した。		-	震災前の環境放射能測定マニュアルに準 拠しつつ、測定可能な方法(測定器、環境) を考慮し採用した。
マニュアル(事故前)との違い		なし	なし	試料を直接測定しており、マニュアルに示す灰化は実施していない。		蒸発乾固濃縮していない。	濃縮を行うが、乾固はさせ ず2Lマリネリ容器で測定。	なし。	蒸発乾固濃縮していない
マニュアル (事故前) に戻せない 理由		-	-	高濃度から低濃度まで様々なため、灰化した場合にコンタ ミの恐れがある。さらに、原子カセンターは核体数が多く 前処理・測定時間の延長に対応できない。		濃縮作業は高線量の地点 があり汚染防止の観点から 難しい。また時間が掛かる ため、結果を速やかに出す ことができない。	時間が掛かるため、結果を速やかに出すことができない。	-	検体数が多くて濃縮に対応できない
その他、日頃、分析を行う上で課題となっている事項		-	-	測定地点の整理(測定継続の有等)。 継続の場合、分析方法の検討(震災前の方法を目指す物 と緊急時モニタリングの方法を継続する物の整理)		測定地点の整理(測定機能の有無)。 機械の場合、分析方法の検討(微災前の方法を目指す物 と緊急時モニタリングの方法を継続する物の整理)		震災前の前処理方法への移行方法と移行 時期。 試料数とそれに対応する設備・器具・分析 員の手配。	

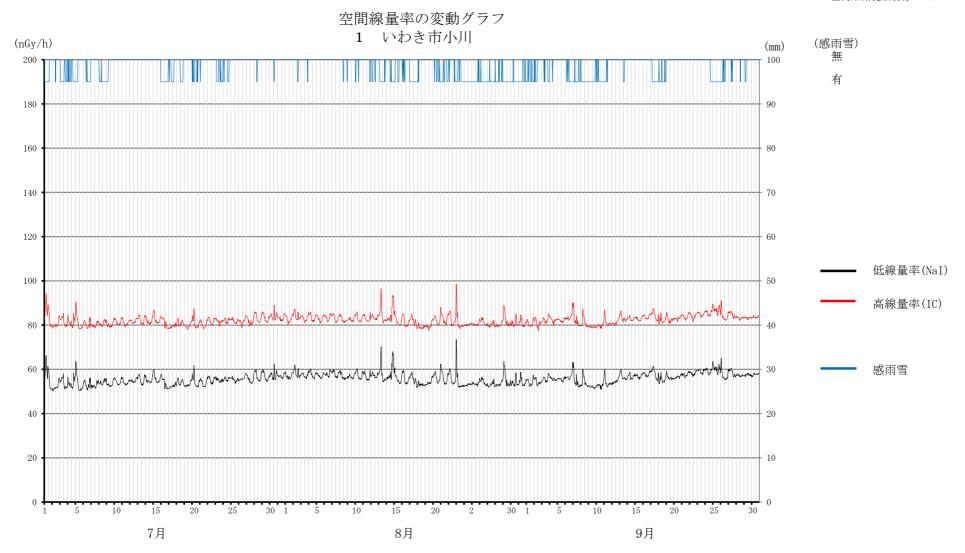
各地点の空間線量率等の変動グラフ 平成27年7月~9月

福島県

目次

空間線量率	大気浮遊じん(推移)
1 いわき市小川・・・・ 1	1 いわき市小川・・・・ 37
2 いわき市久之浜・・・ 2	2 田村市都路馬洗戸・・・38
3 いわき市下桶売・・・ 3	3 広野町小滝平・・・・39
4 いわき市川前・・・・ 4	4 楢葉町木戸ダム・・・ 40
5 田村市都路馬洗戸・・・ 5	5 楢葉町繁岡・・・・ 41
6 広野町二ツ沼・・・・ 6	6 富岡町富岡・・・・・ 42
7 広野町小滝平・・・・ 7	7 川内村下川内・・・・ 43
8 楢葉町山田岡・・・・ 8	8 大熊町大野・・・・・ 44
9 楢葉町木戸ダム・・・ 9	9 大熊町夫沢・・・・・ 45
10 楢葉町繁岡・・・・・ 10	10 双葉町郡山・・・・・ 46
11 楢葉町松館・・・・・ 11	11 浪江町幾世橋・・・・ 47
12 楢葉町波倉・・・・ 12	12 浪江町大柿ダム・・・ 48
13 富岡町上郡山・・・・ 13	13 葛尾村夏湯・・・・・ 49
14 富岡町下郡山・・・・ 14	14 南相馬市泉沢・・・・ 50
15 富岡町深谷・・・・・ 15	
16 富岡町富岡・・・・・ 16	大気浮遊じん(相関図)
17 富岡町夜の森・・・・ 17	1 いわき市小川・・・・ 51
18 川内村下川内・・・・ 18	2 田村市都路馬洗戸・・・51
19 大熊町向畑・・・・・ 19	3 広野町小滝平・・・・ 52
20 大熊町熊川・・・・・ 20	4 楢葉町木戸ダム・・・ 52
21 大熊町南台・・・・・ 21	5 楢葉町繁岡・・・・・ 53
22 大熊町大野・・・・・ 22	6 富岡町富岡・・・・ 53
23 大熊町夫沢・・・・・ 23	7 川内村下川内・・・・ 54
24 双葉町山田・・・・・ 24	8 大熊町大野・・・・ 54
25 双葉町郡山・・・・・ 25	9 大熊町夫沢・・・・ 55
26 双葉町新山・・・・・ 26	10 双葉町郡山・・・・ 55
27 双葉町上羽鳥・・・・ 27	11 浪江町幾世橋・・・・ 56
28 浪江町請戸・・・・・ 28	12 浪江町大柿ダム・・・ 56
29 浪江町棚塩・・・・ 29	13 葛尾村夏湯・・・・ 57
30 浪江町浪江・・・・ 30	14 南相馬市泉沢・・・・ 57
31 浪江町幾世橋・・・・ 31	
32 浪江町大柿ダム・・・ 32	空間線量率(比較対照)
33 浪江町南津島・・・・ 33	1-1 福島市紅葉山 (3m) · 58
34 葛尾村夏湯・・・・・ 34	1-2 福島市紅葉山(1m)・ 59
35 南相馬市泉沢・・・・ 35	2 郡山市日和田・・・・ 60
36 南相馬市横川ダム・・ 36	3 いわき市平・・・・ 61

※ 図中の「事故前の最大値」は、平成23年3月10日までに観測された最大値



空間線量率の変動グラフ 2 いわき市久之浜 (感雨雪) 無 (nGy/h) (mm) 300 -有 低線量率(NaI) 高線量率(IC) 感雨雪

7月

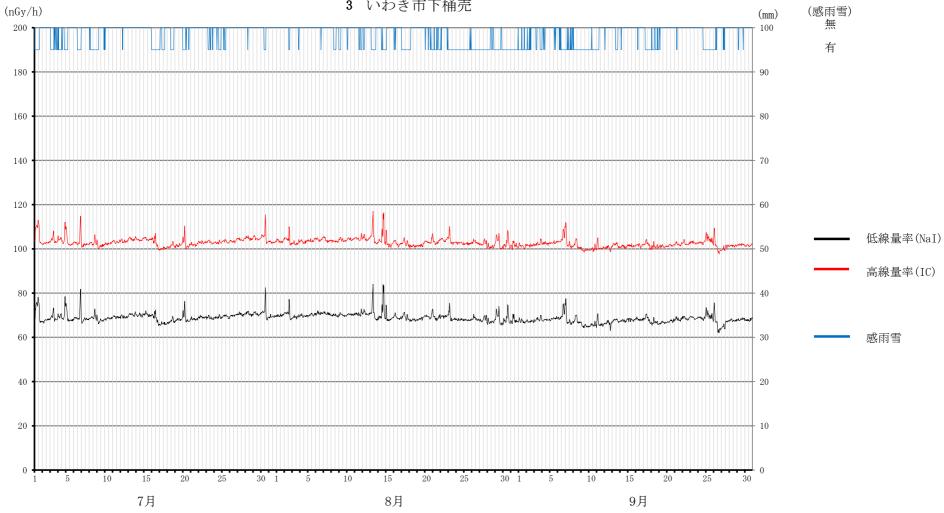
30 1

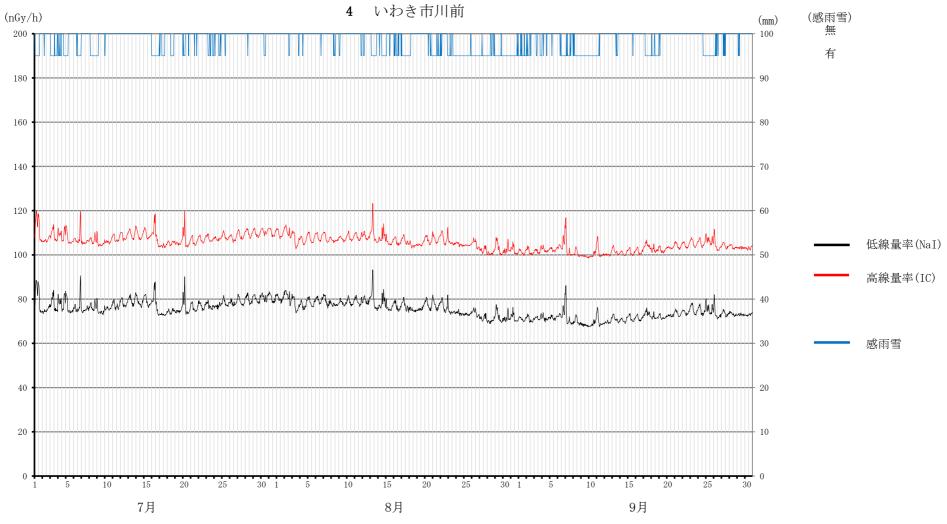
8月

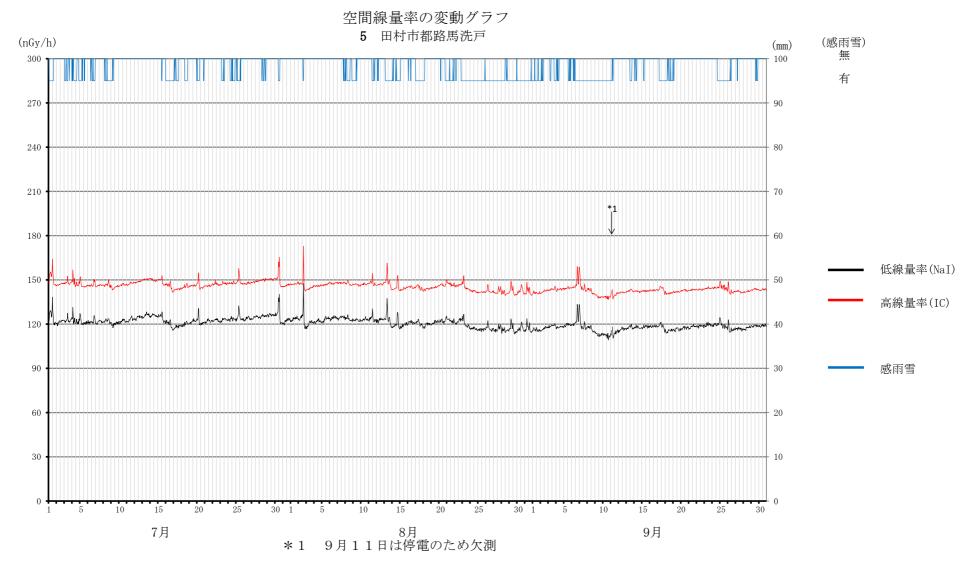
30 1

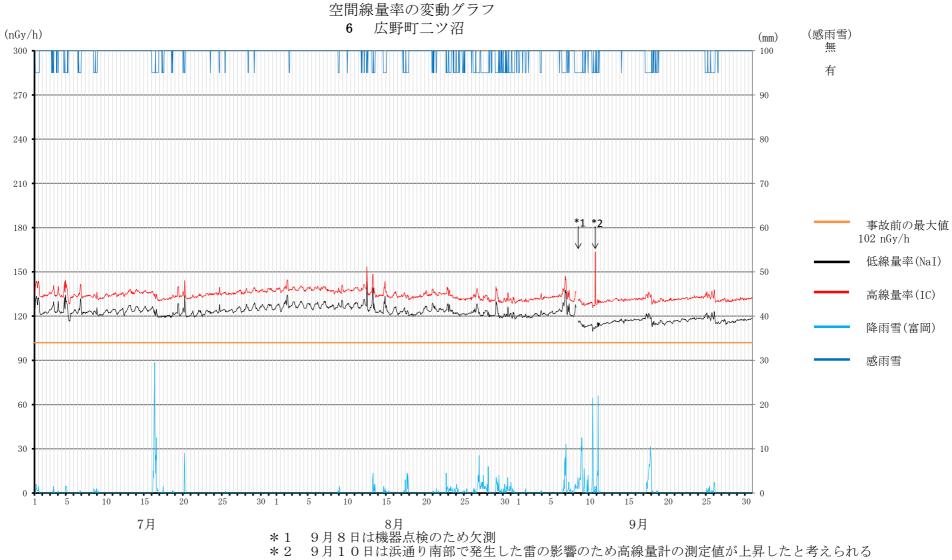
9月

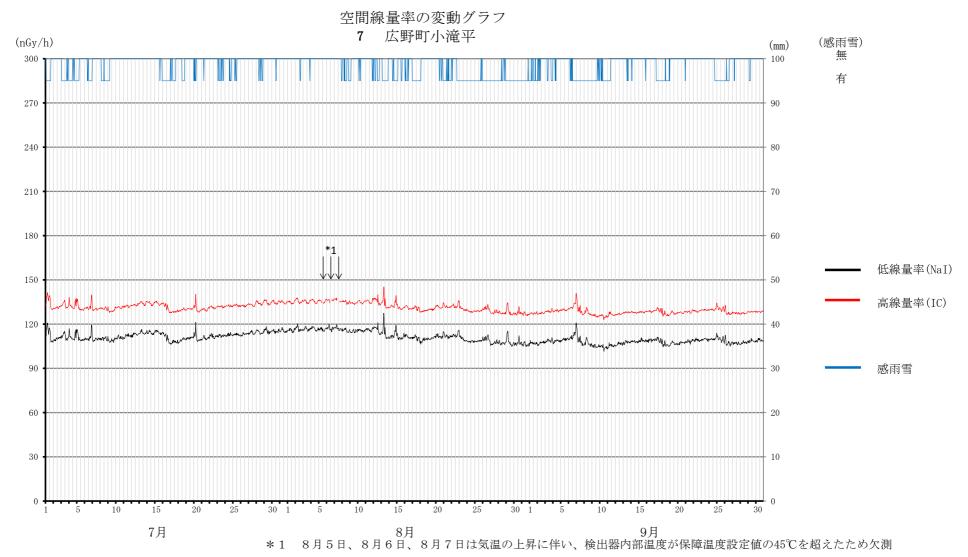
空間線量率の変動グラフ 3 いわき市下桶売

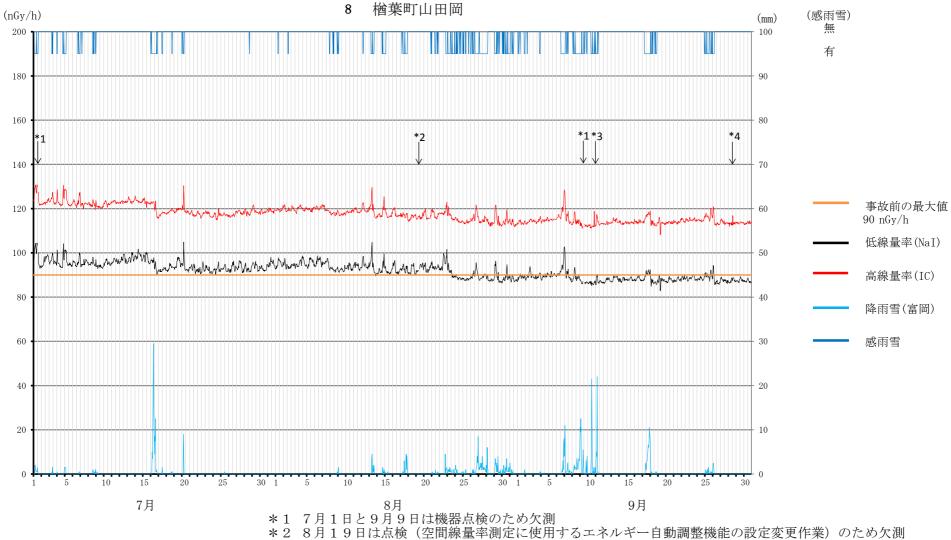






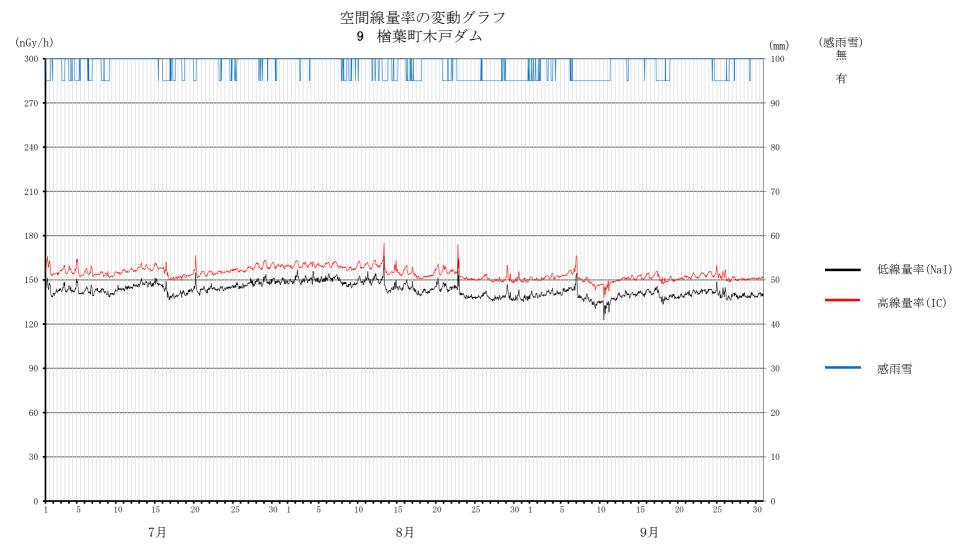


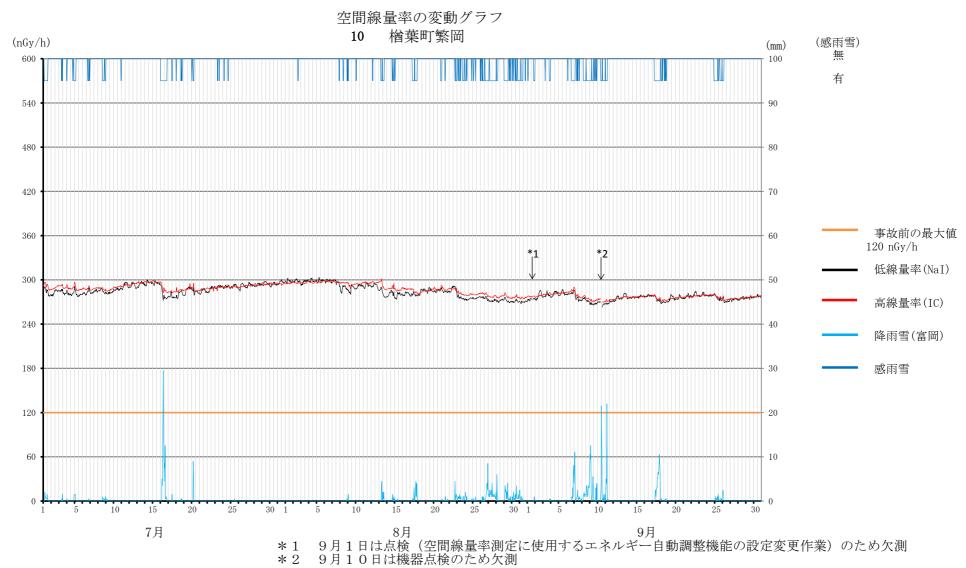


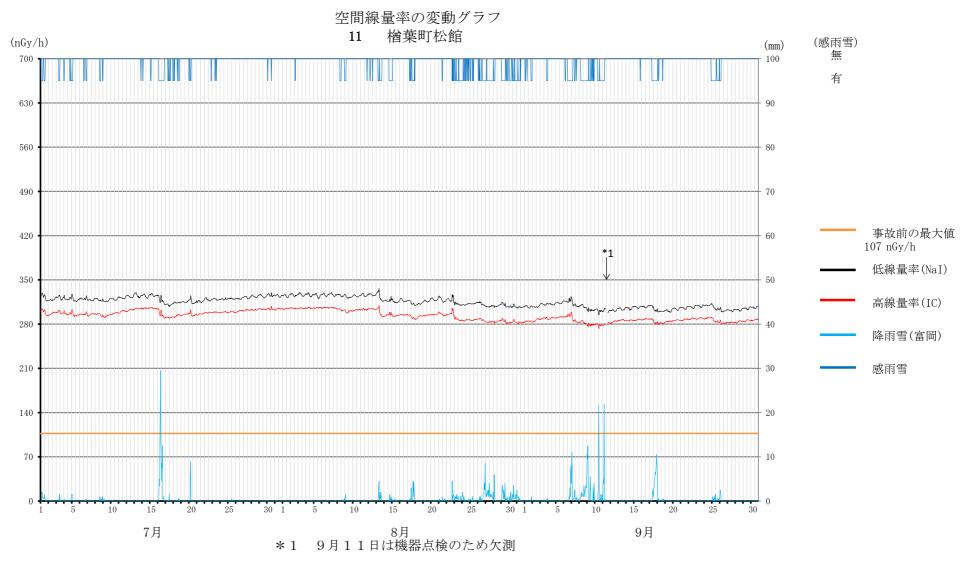


*4 9月28日は宇宙線により高線量計の測定値が上昇したと考えられる

*3 9月10日は浜通り南部で発生した雷の影響のため高線量計の測定値が上昇したと考えられる

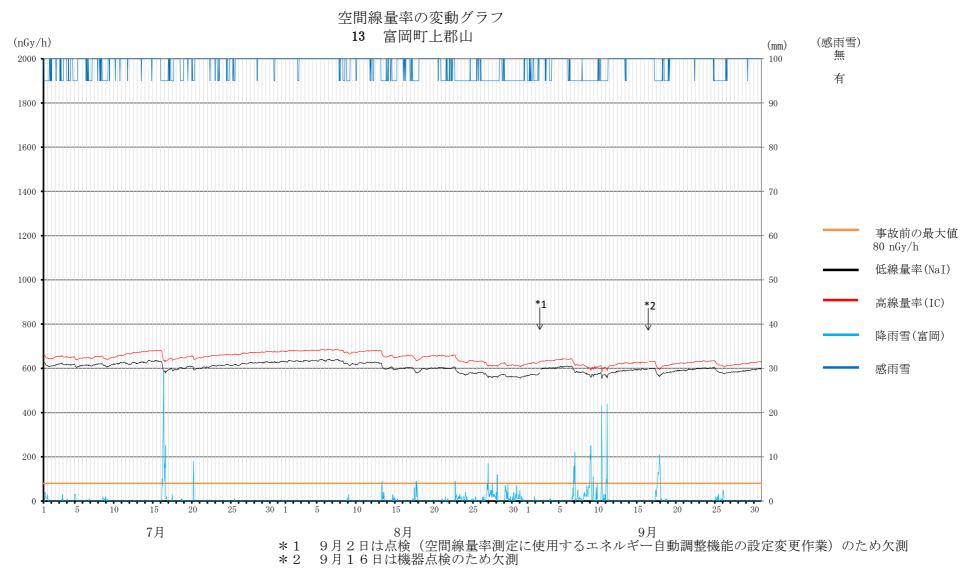


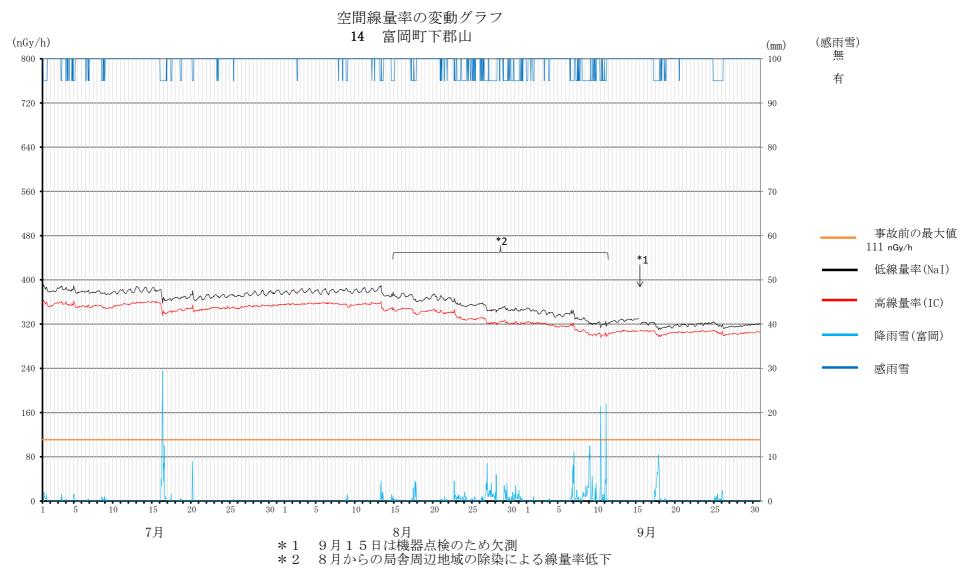


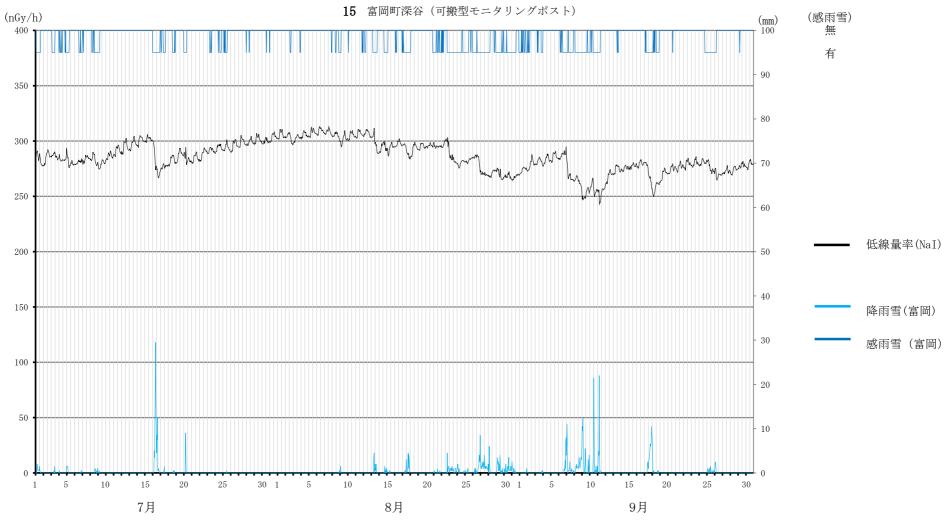


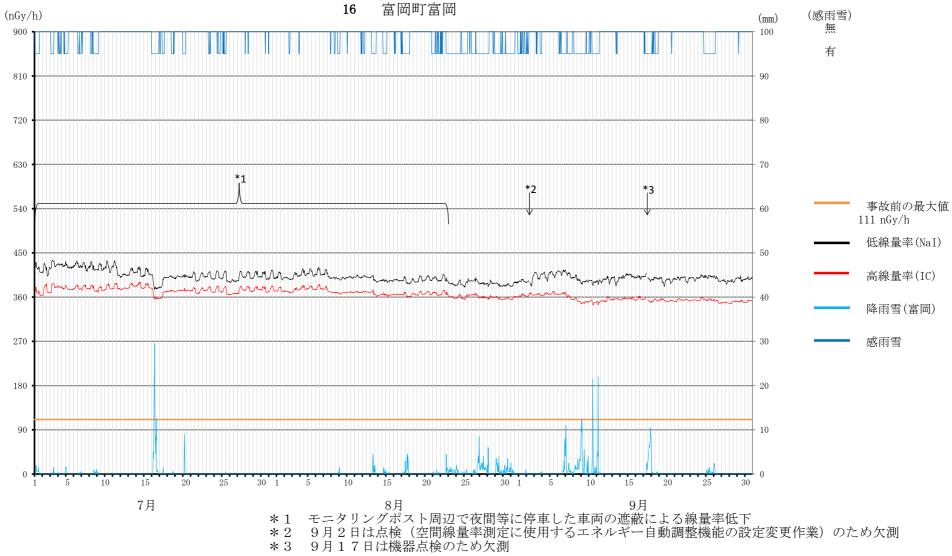
空間線量率の変動グラフ 楢葉町波倉 (nGy/h) (感雨雪) (mm) 無 有 事故前の最大値 143 nGy/h 低線量率(NaI) 高線量率(IC) 降雨雪(富岡) 感雨雪 30 1 30 1 8月 *1 9月3日は点検(空間線量率測定に使用するエネルギー自動調整機能の設定変更作業)のため欠測 *2 9月4日は検出器温度計修繕のため欠測 *3 9月14日は機器点検のため欠測

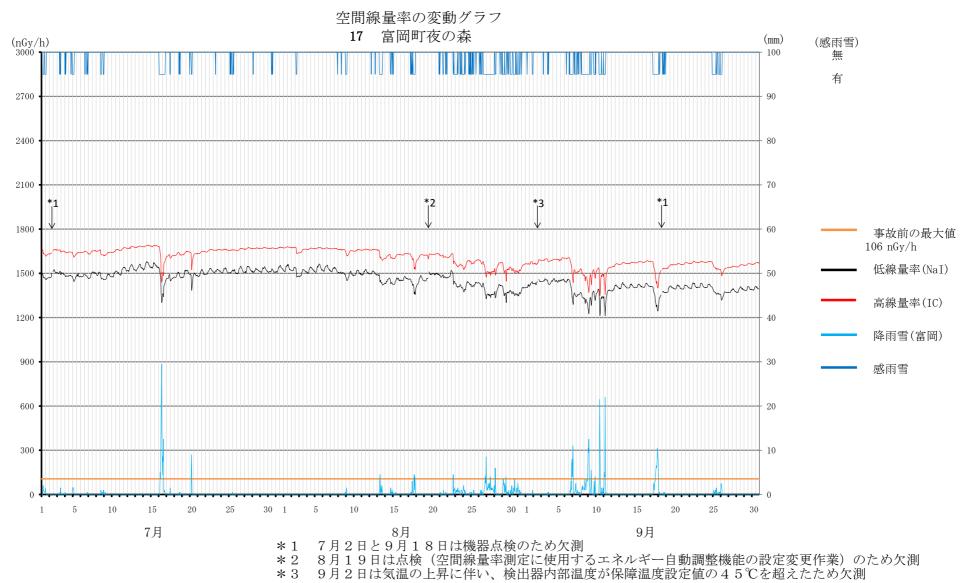
7月



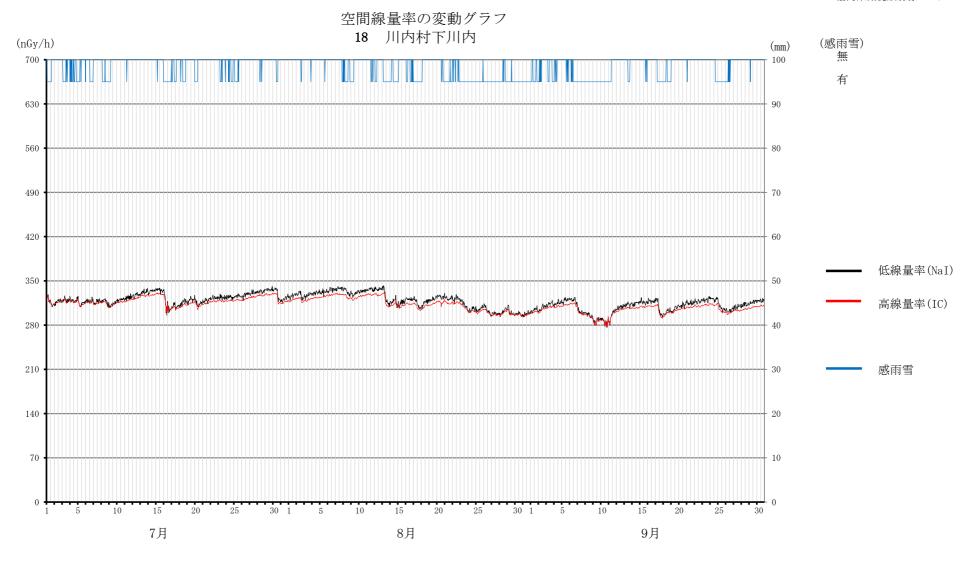


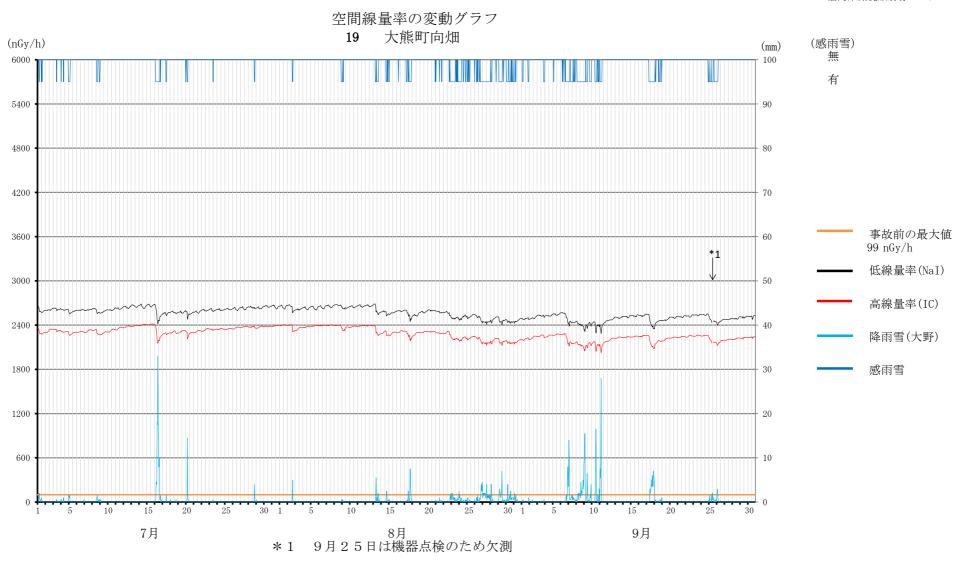


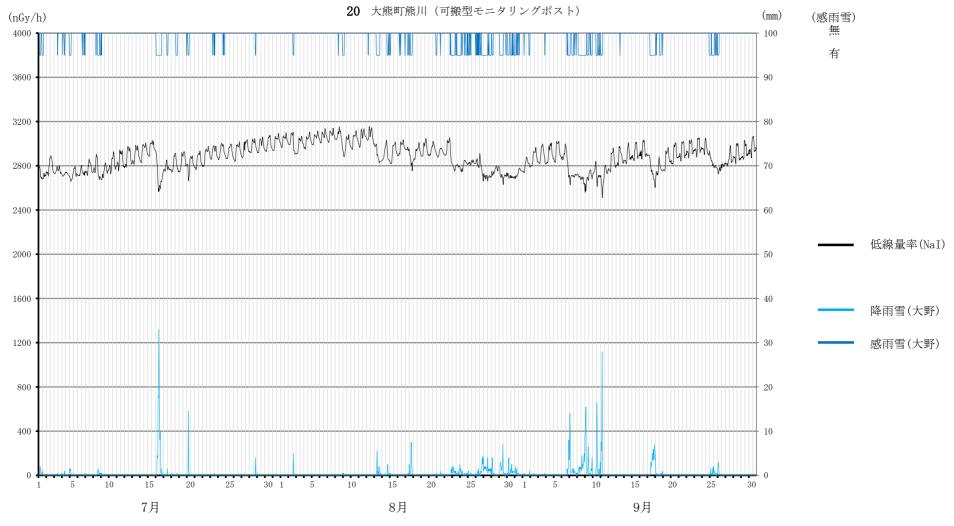


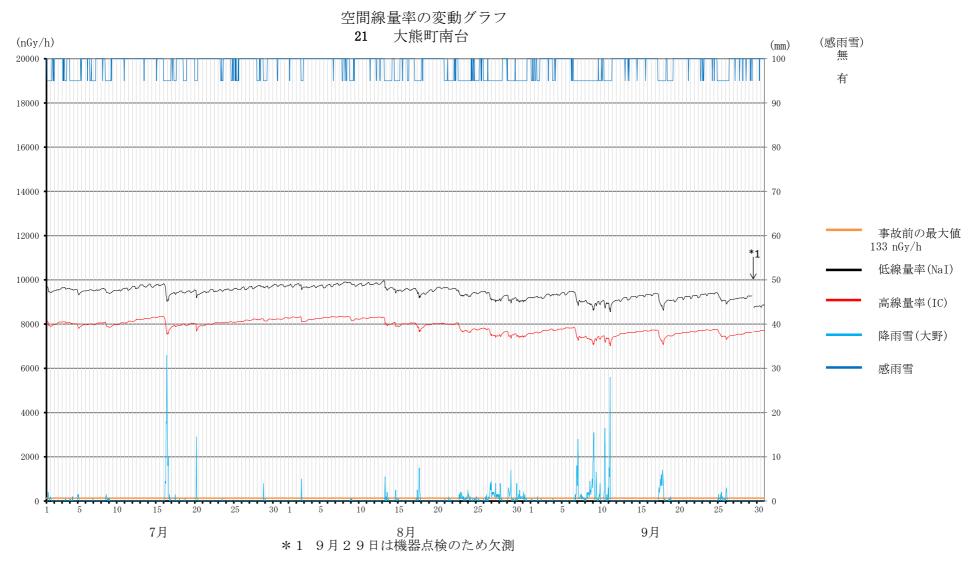


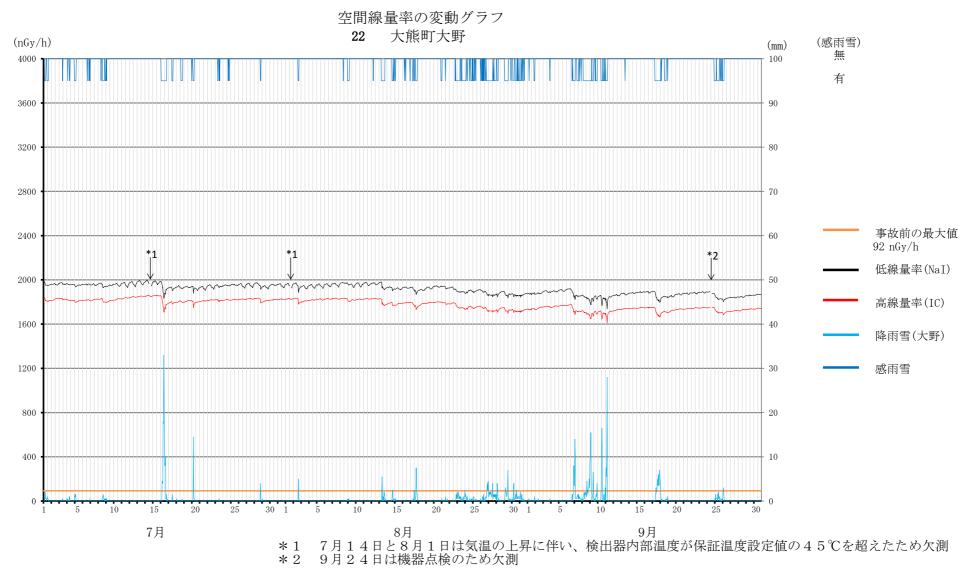
17



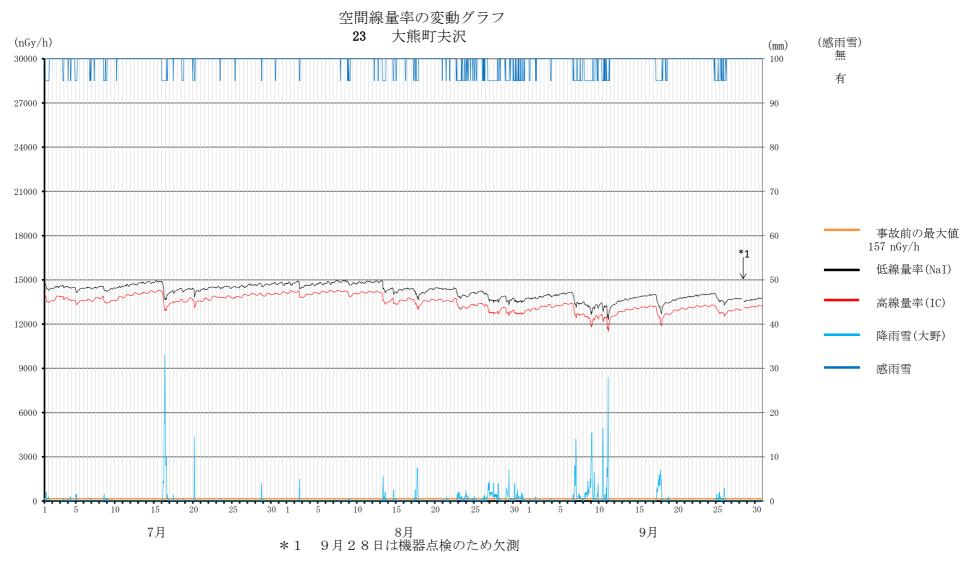


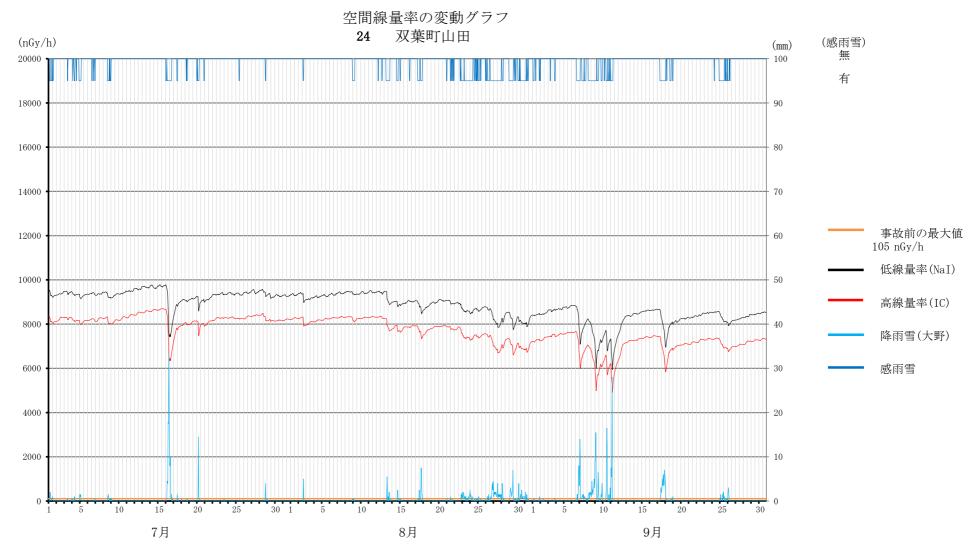


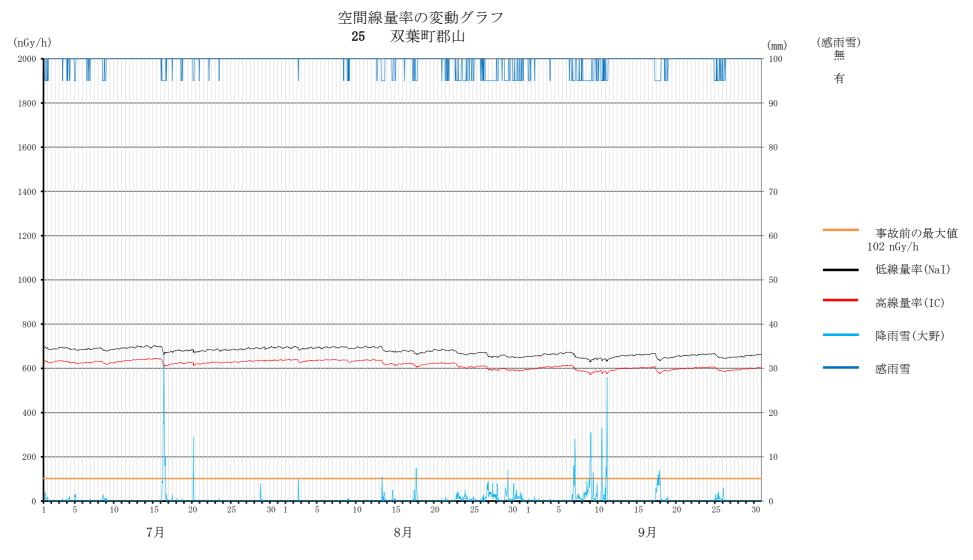




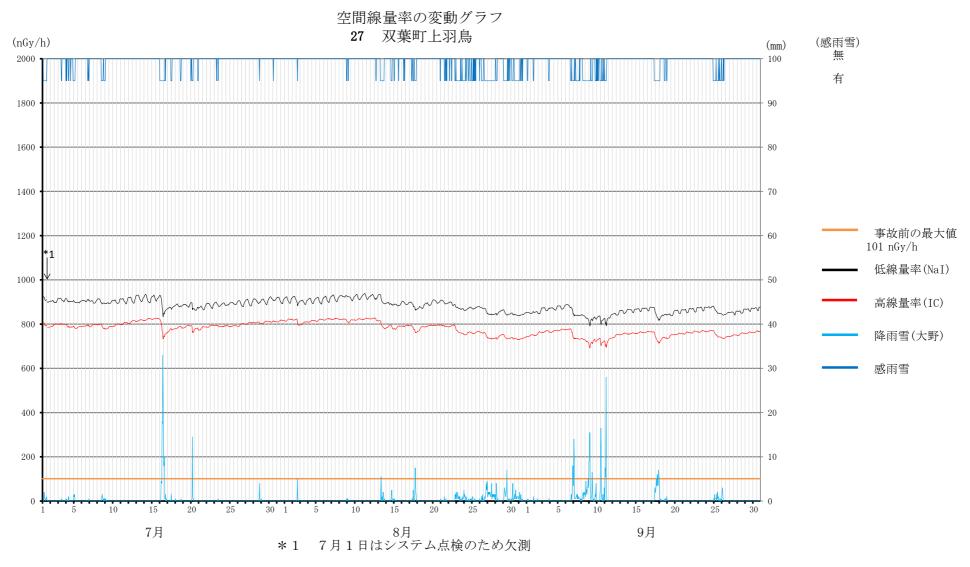
22



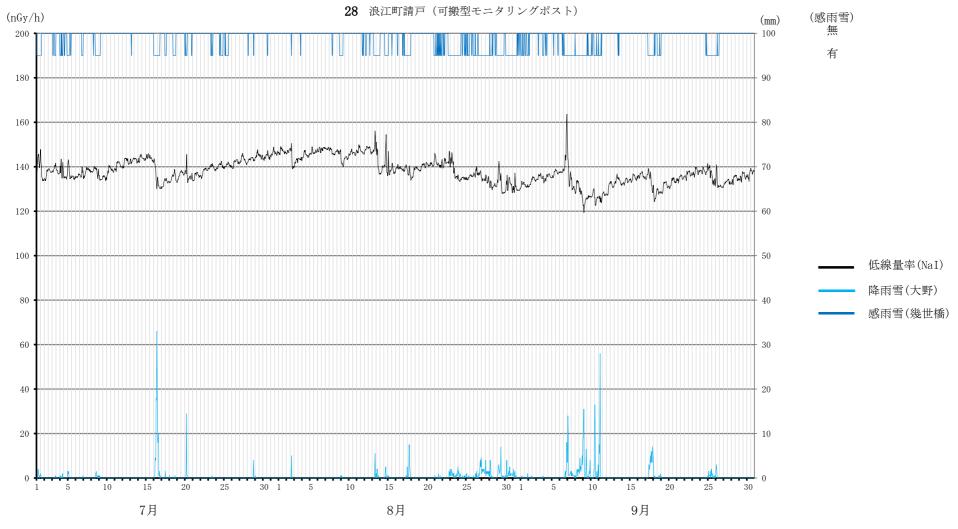




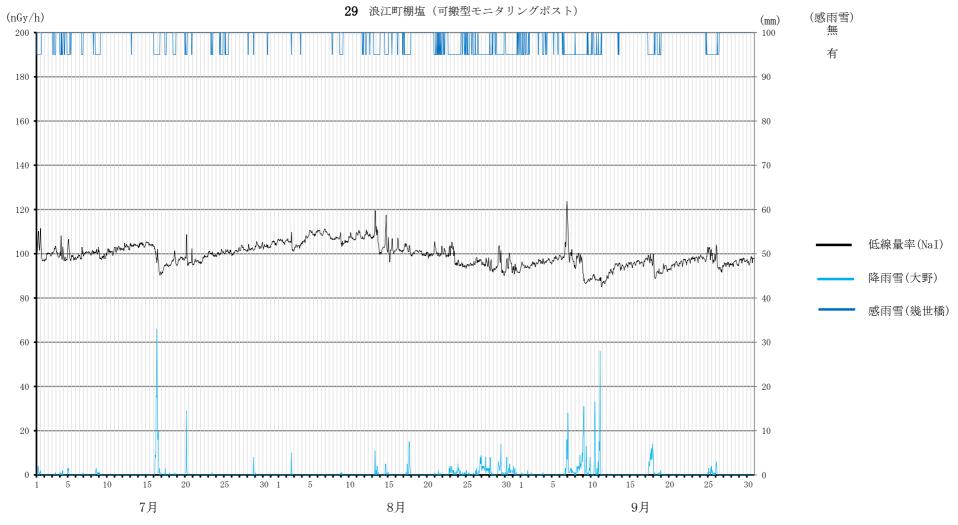
空間線量率の変動グラフ 双葉町新山 (nGy/h) (感雨雪) (mm) 無 有 事故前の最大値 89 nGy/h 低線量率(NaI) 高線量率(IC) 降雨雪(富岡) 感雨雪 30 1 30 1 8月 *1 8月18日は点検(空間線量率測定に使用するエネルギー自動調整機能の設定変更作業)のため欠測 *2 9月30日は機器点検のため欠測 7月

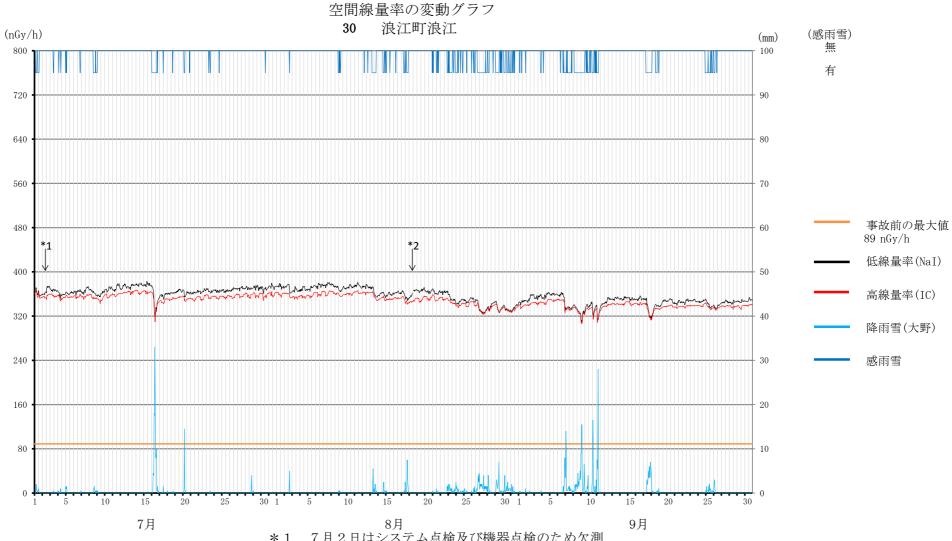


空間線量率の変動グラフ



空間線量率の変動グラフ





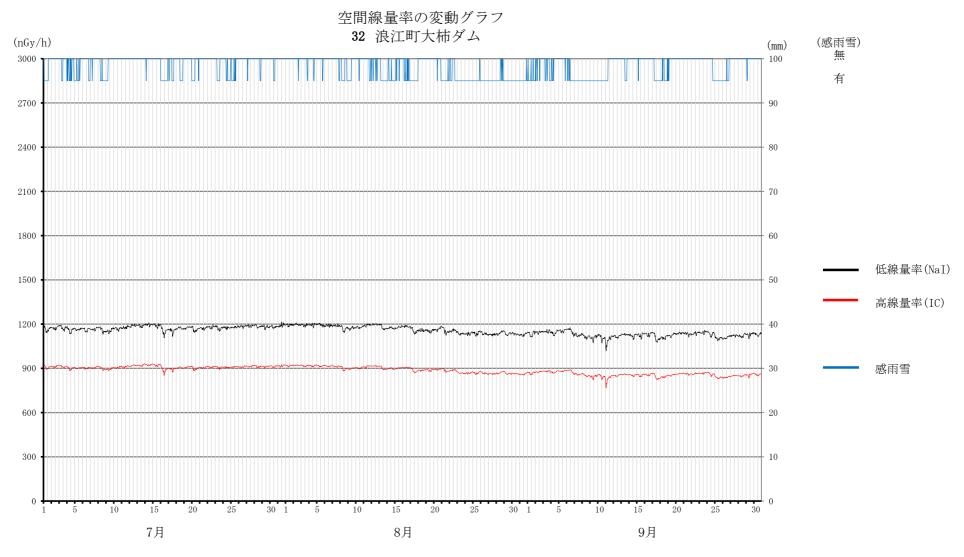
*1 7月2日はシステム点検及び機器点検のため欠測 *2 8月18日は点検(空間線量率測定に使用するエネルギー自動調整機能の設定変更作業)のため欠測

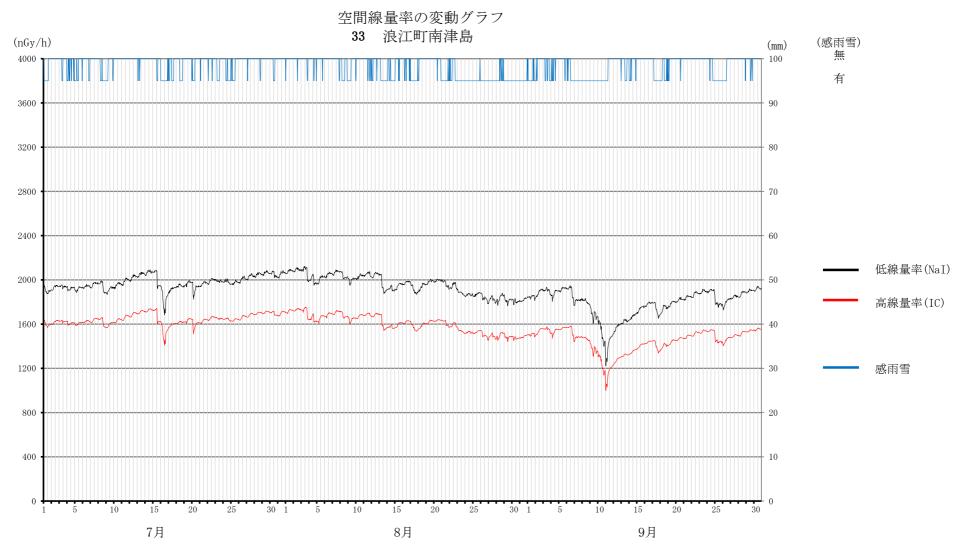
空間線量率の変動グラフ 31 浪江町幾世橋 (nGy/h) (感雨雪) (mm) 無 300 100 有 270 90 240 80 210 70 事故前の最大値 180 60 90 nGy/h 低線量率(NaI) 150 高線量率(IC) 120 40 降雨雪(大野) 感雨雪 90 30 60 20 30 10 25 30 1 10 15 20 30 1 10 15 20 25 10 15 20 7月 8月 9月

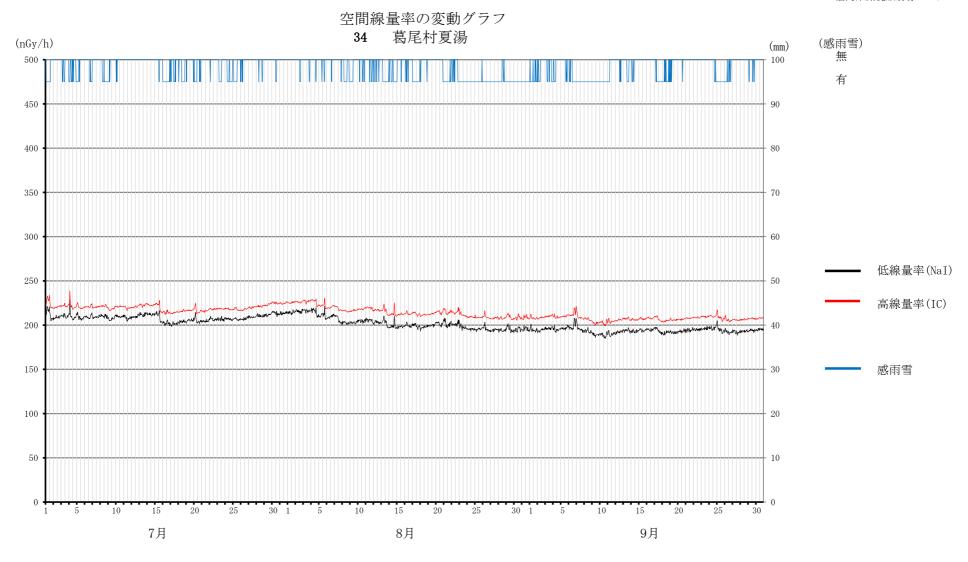
31

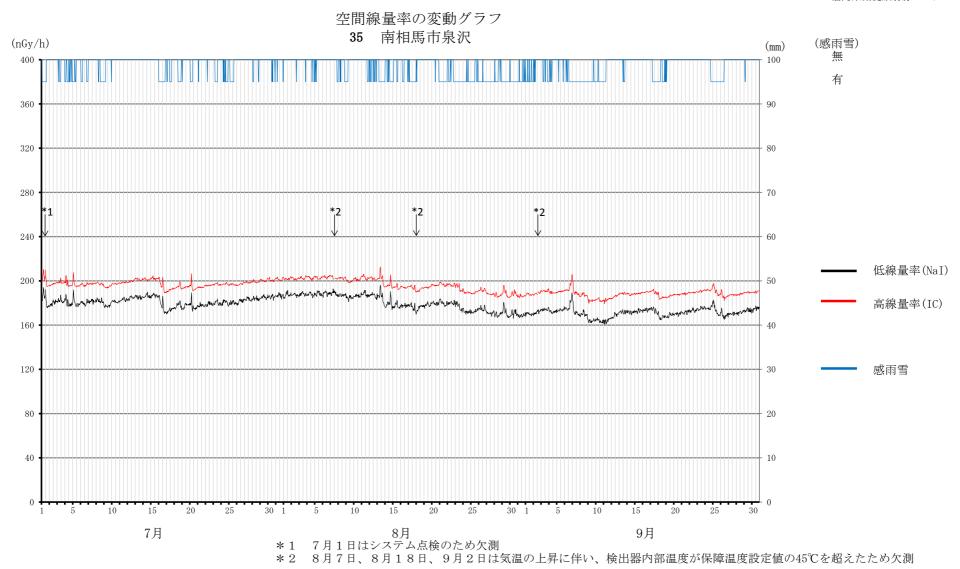
*2 7月9日は気温の上昇に伴い、検出器内部温度が保証温度設定値の45℃を超えたため欠測 *3 7月11日と7月31日は点検(空間線量率測定に使用するエネルギー自動調整機能の設定変更作業)のため欠測

*1 7月1日はシステム点検のため欠測

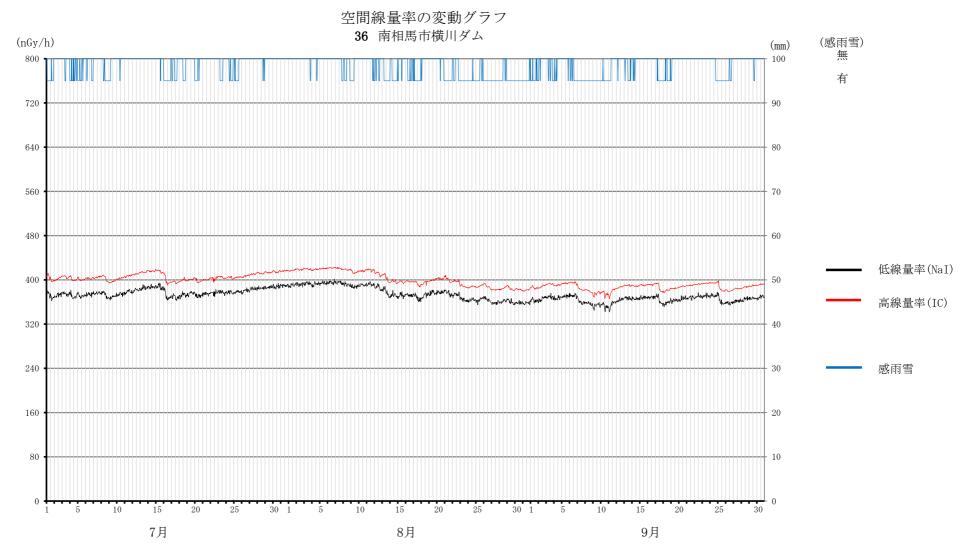




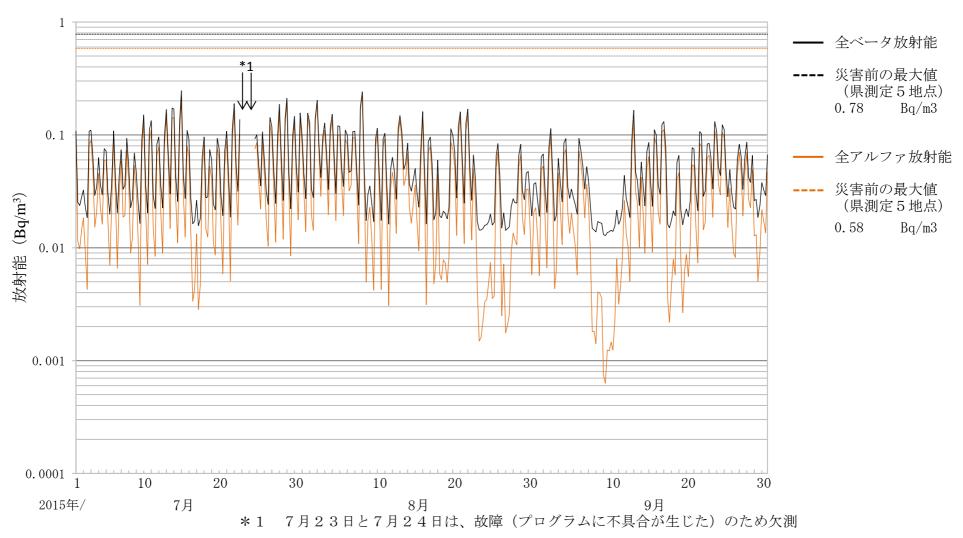




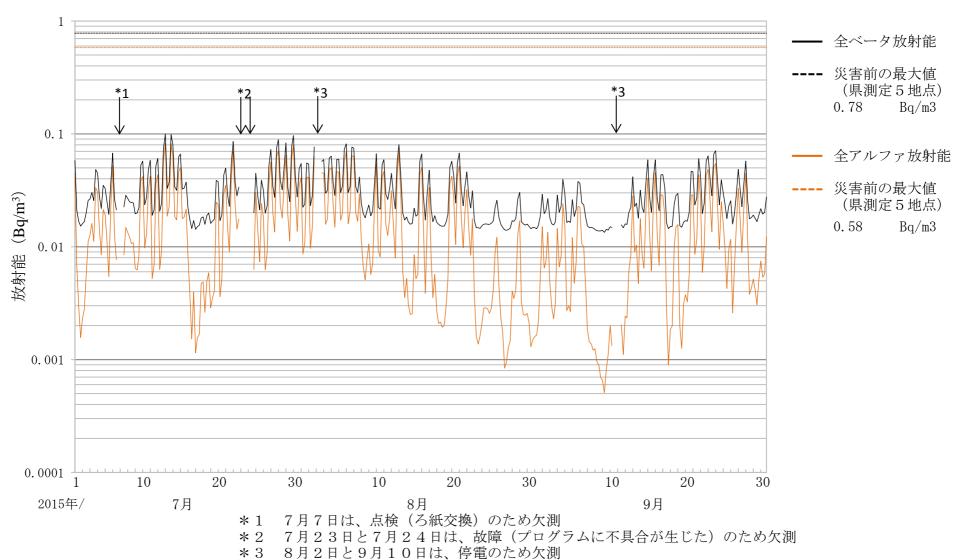
35



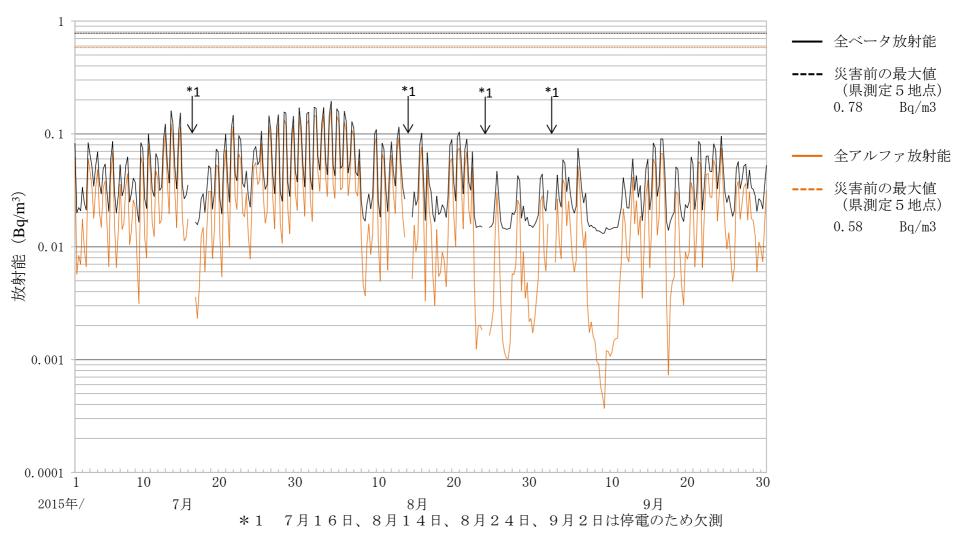
1 いわき市小川 (平成27年7月1日~9月30日)



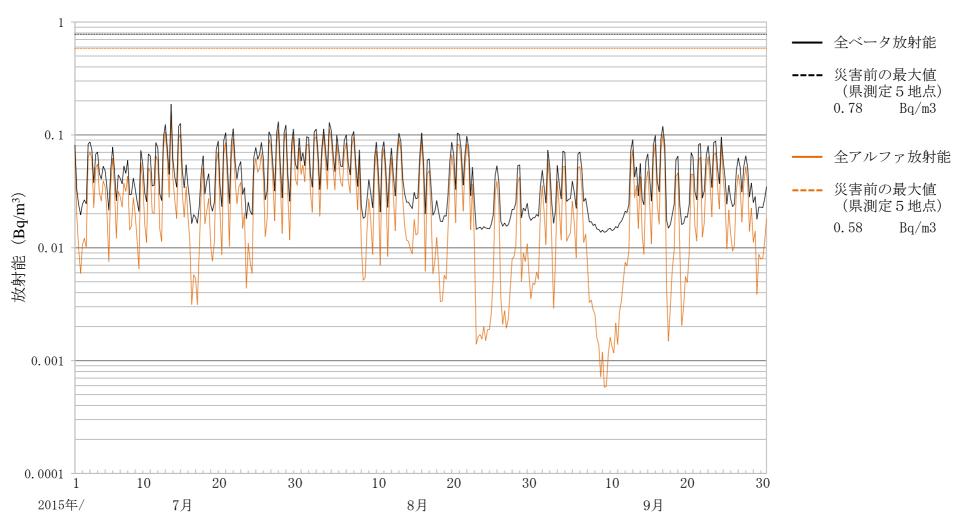
2 田村市都路馬洗戸 (平成27年7月1日~9月30日)



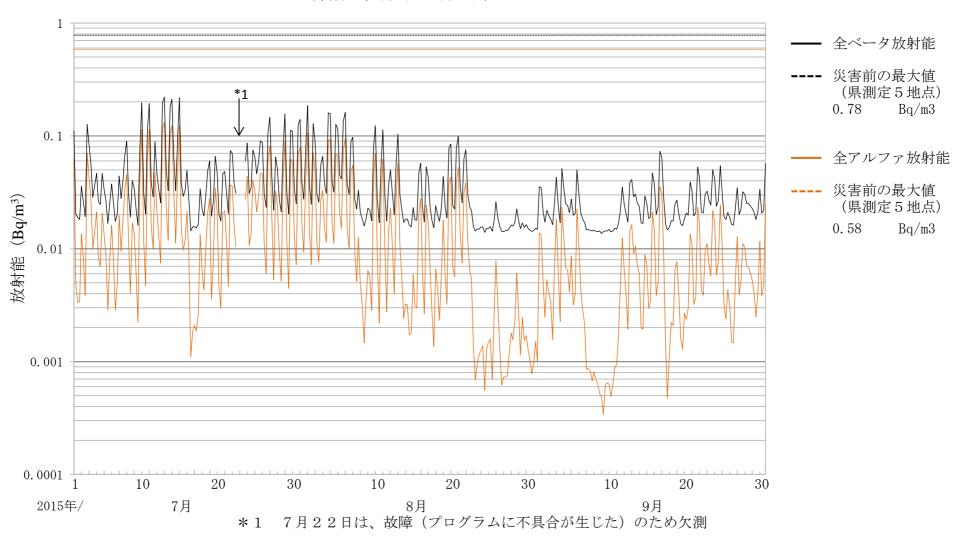
3 広野町小滝平 (平成27年7月1日~9月30日)



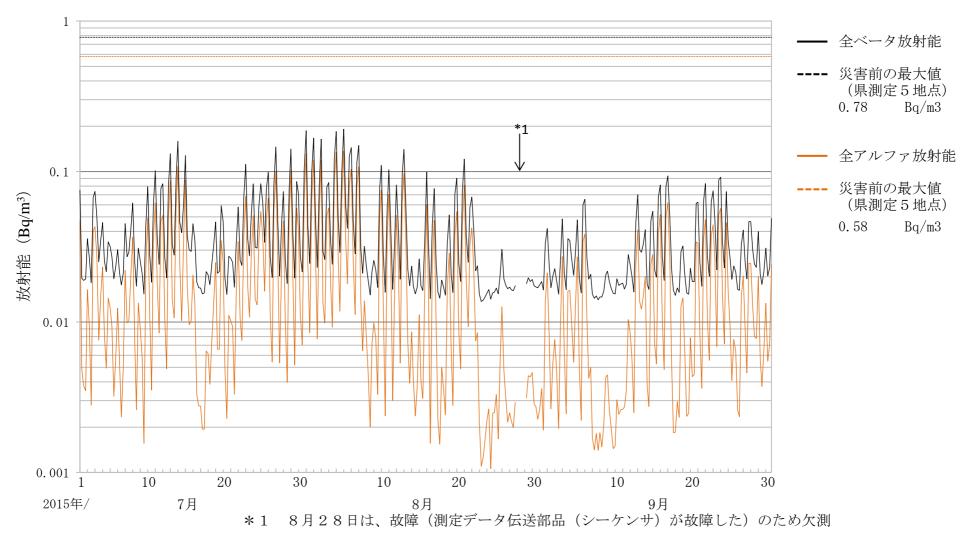
4 楢葉町木戸ダム (平成27年7月1日~9月30日)



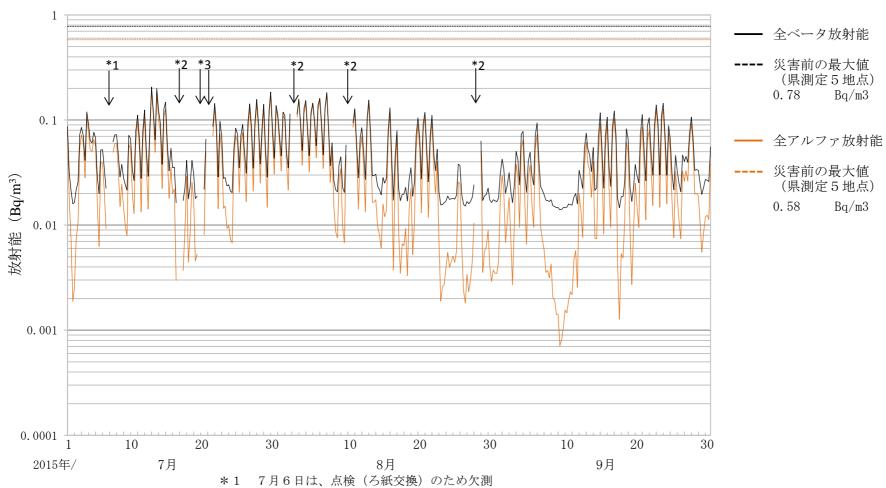
5 楢葉町繁岡 (平成27年7月1日~9月30日)



6 富岡町富岡 (平成27年7月1日~9月30日)

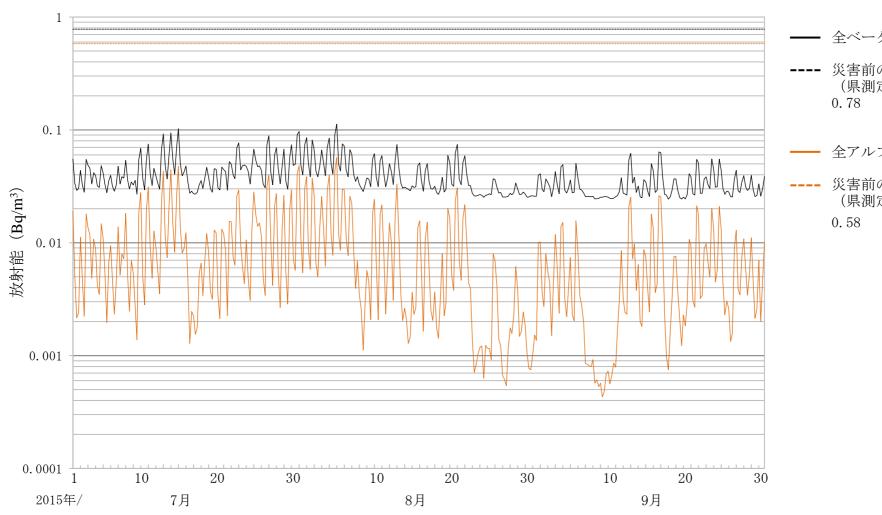


7 川内村下川内 (平成27年7月1日~9月30日)



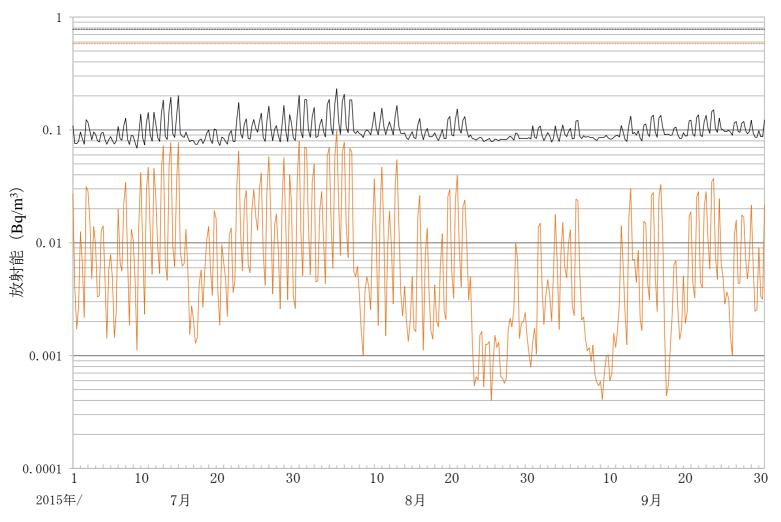
- *2 7月16日、8月2日、8月10日、8月28日は停電のため欠測
- *3 7月19日と7月21日は、故障(検出器からの信号をコンピュータに送る基板が故障した)のため欠測

大熊町大野 (平成27年7月1日~9月30日)



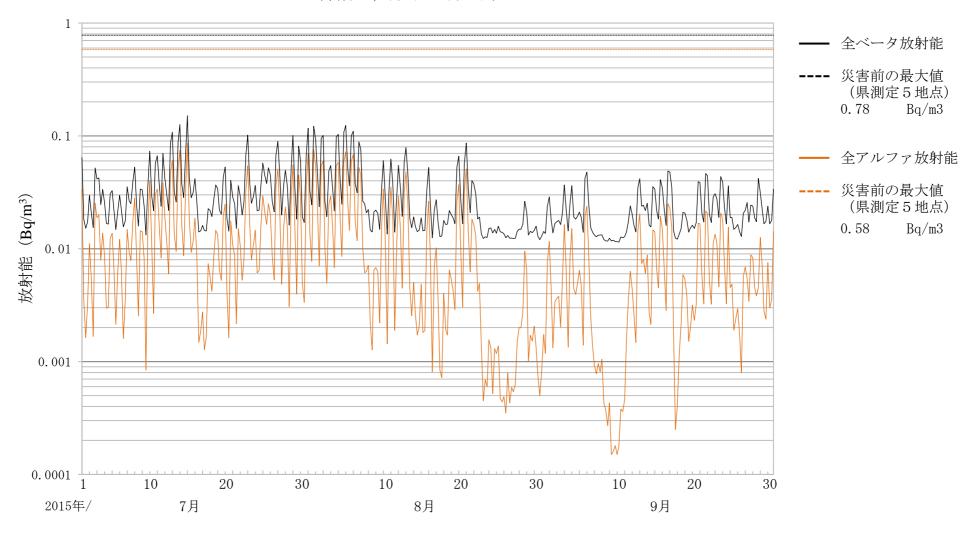
- 全ベータ放射能
- ---- 災害前の最大値 (県測定5地点) Bq/m3
 - 全アルファ放射能
- ---- 災害前の最大値 (県測定5地点) Bq/m3

9 大熊町夫沢 (平成27年7月1日~9月30日)

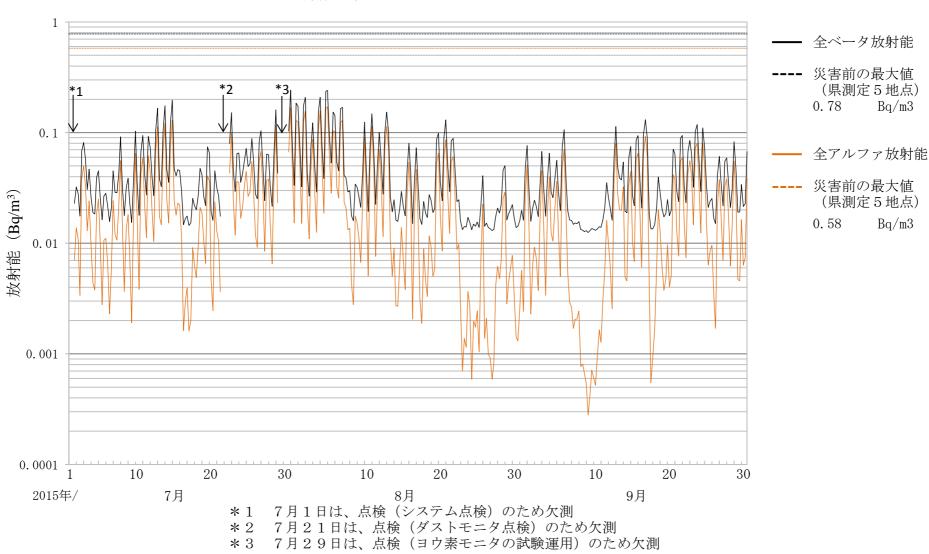


- -- 全ベータ放射能
- ---- 災害前の最大値 (県測定5地点) 0.78 Bq/m3
 - 全アルファ放射能
- --- 災害前の最大値 (県測定5地点) 0.58 Bq/m3

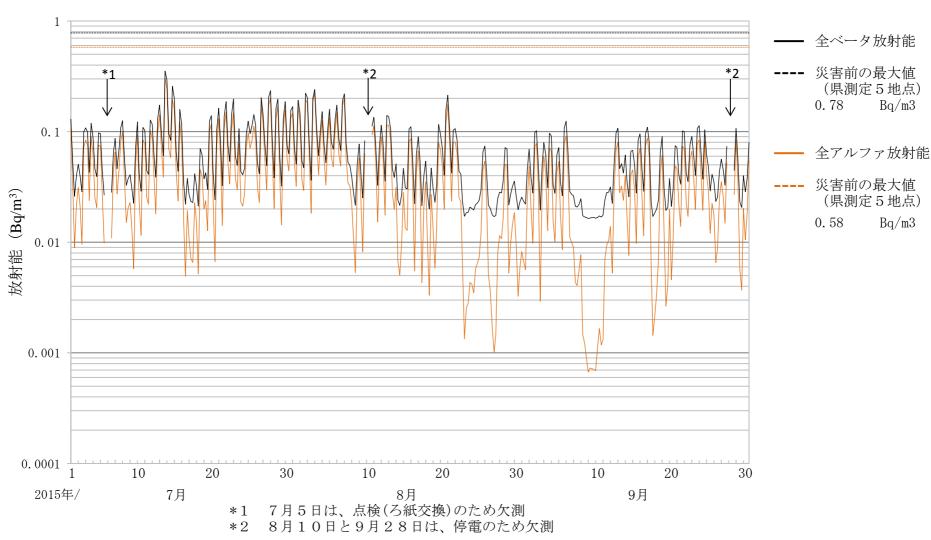
10 双葉町郡山 (平成27年7月1日~9月30日)

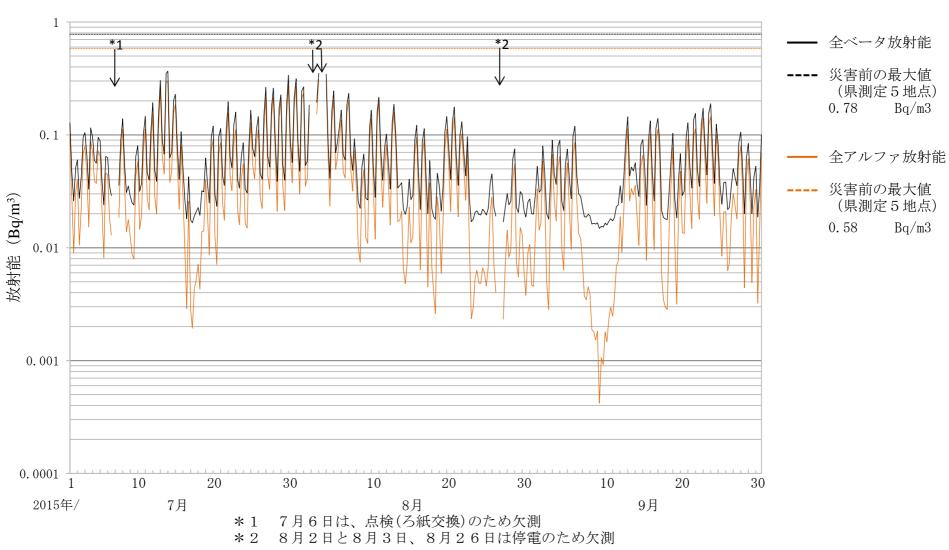


11 浪江町幾世橋 (平成27年7月1日~9月30日)

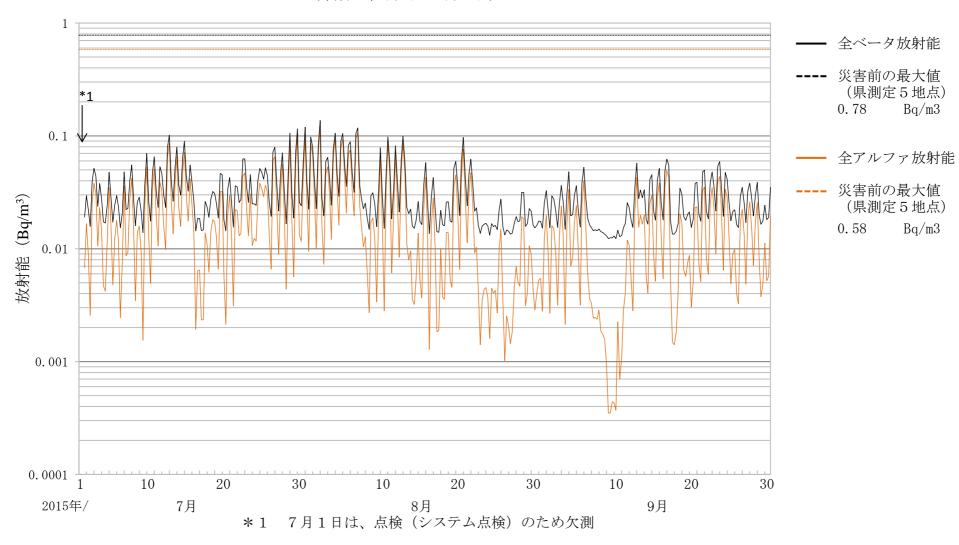


12 浪江町大柿ダム (平成27年7月1日~9月30日)

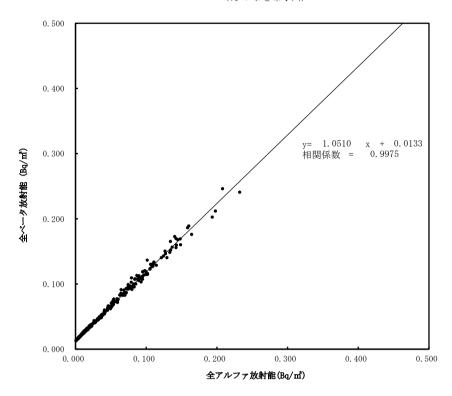




14 南相馬市泉沢 (平成27年7月1日~9月30日)

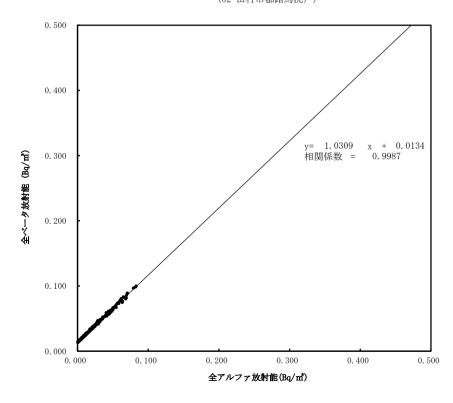


(平成27年7月~9月) (01 いわき市小川)

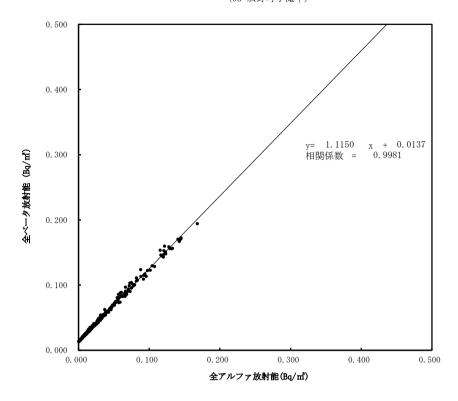


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年7月~9月) (02 田村市都路馬洗戸)

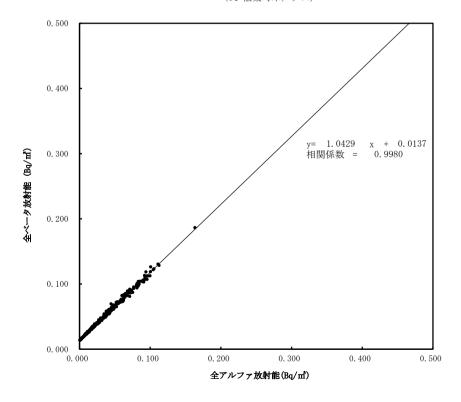


(平成27年7月~9月) (03 広野町小滝平)

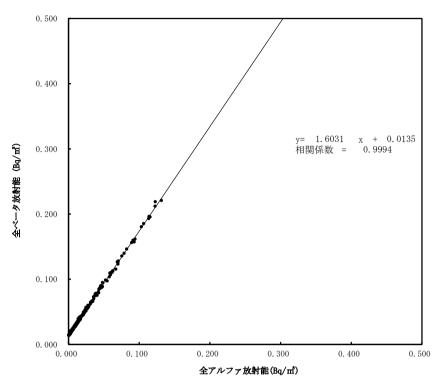


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

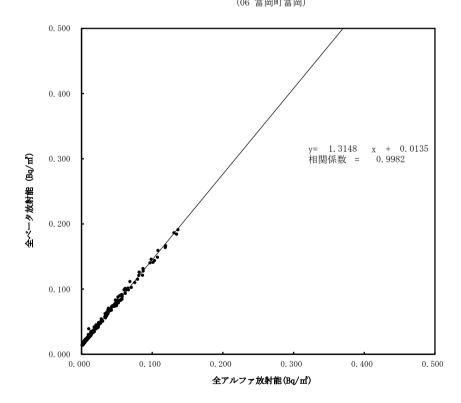
(平成27年7月~9月) (04 楢葉町木戸ダム)



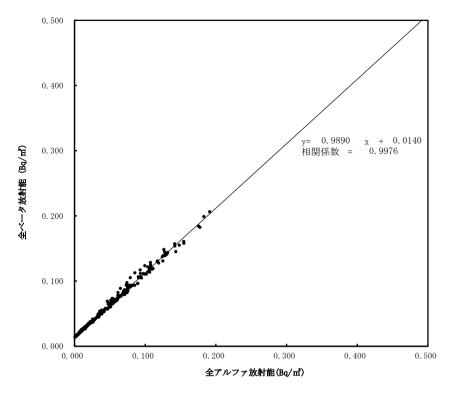
(平成27年7月~9月) (05 楢葉町繁岡)



大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (平成27年7月~9月) (06 富岡町富岡)

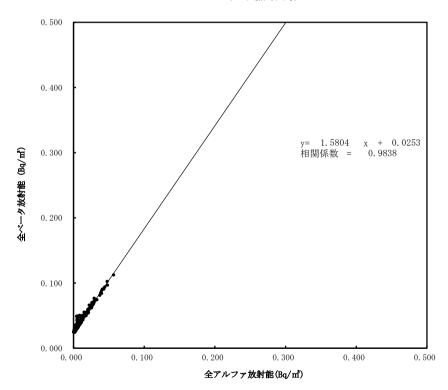


(平成27年7月~9月) (07 川内村下川内)

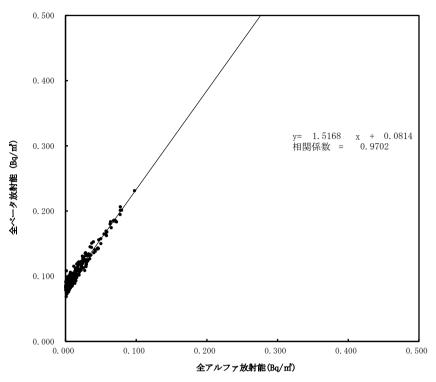


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年7月~9月) (08 大熊町大野)

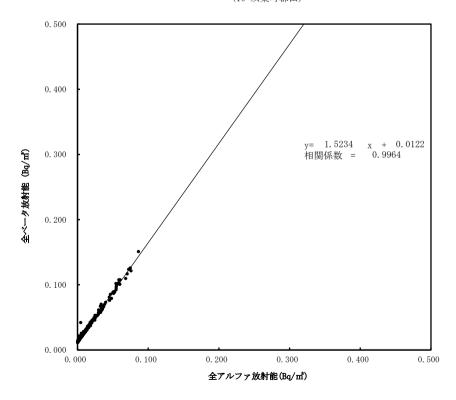


(平成27年7月~9月) (09 大熊町夫沢)

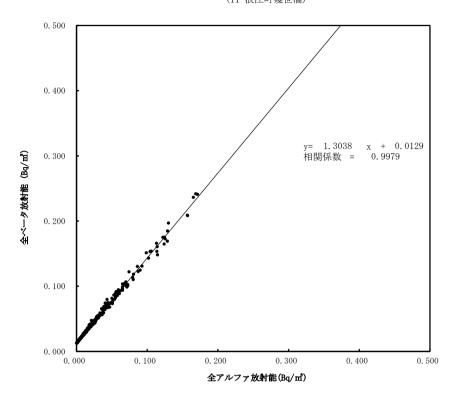


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年7月~9月) (10 双葉町郡山)

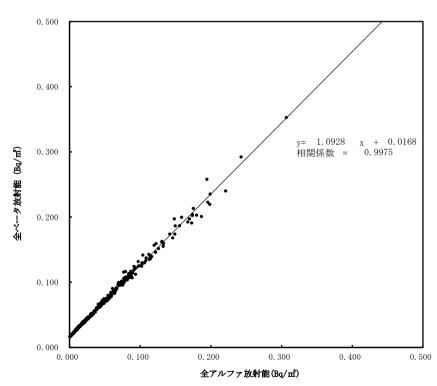


(平成27年7月~9月) (11 浪江町幾世橋)

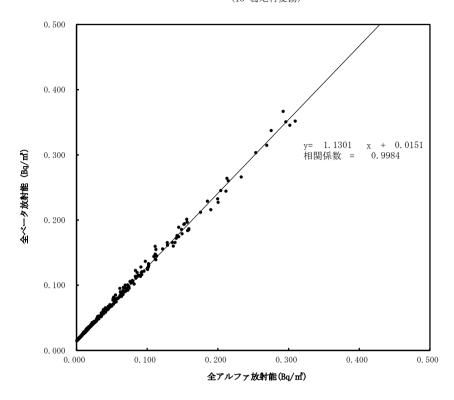


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年7月~9月) (12 浪江町大柿ダム)

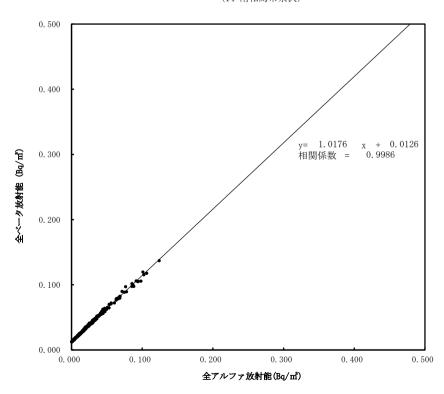


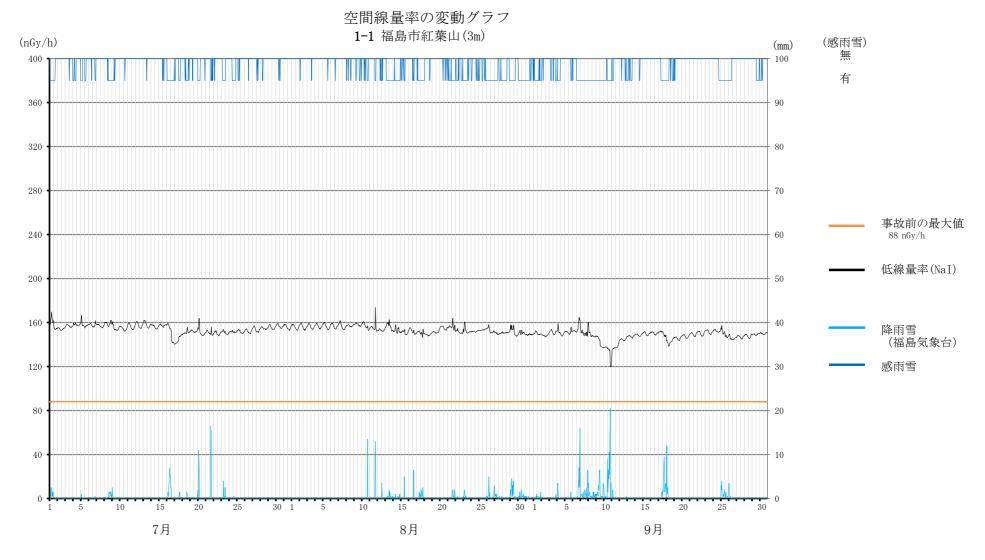
(平成27年7月~9月) (13 葛尾村夏湯)

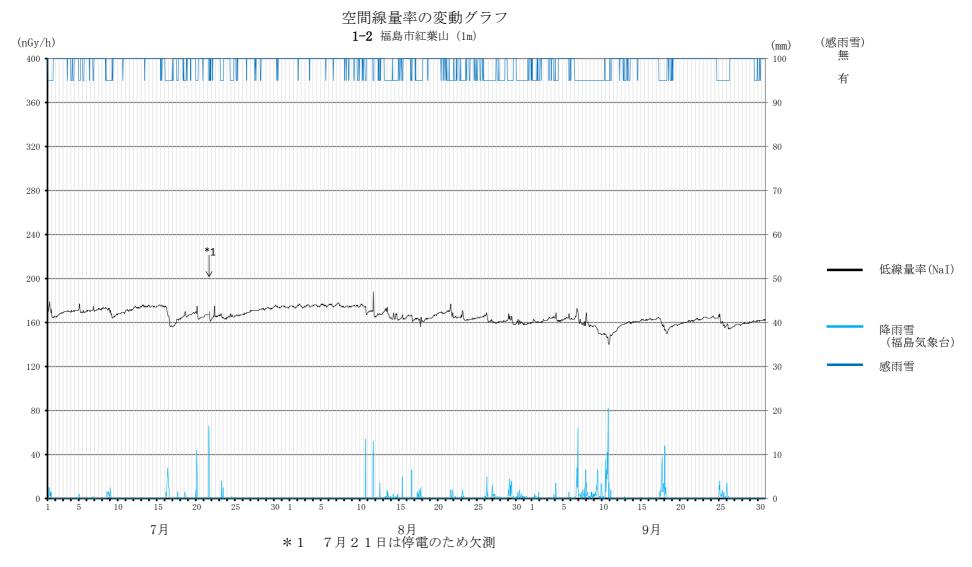


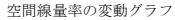
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年7月~9月) (14 南相馬市泉沢)

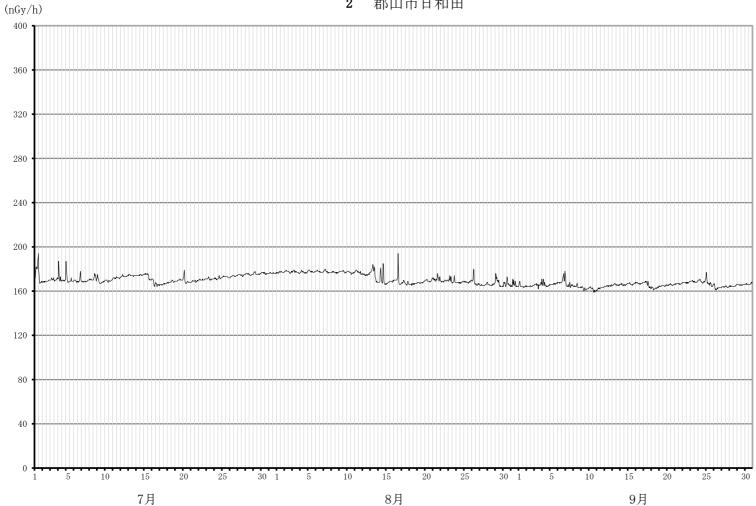




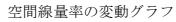


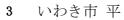


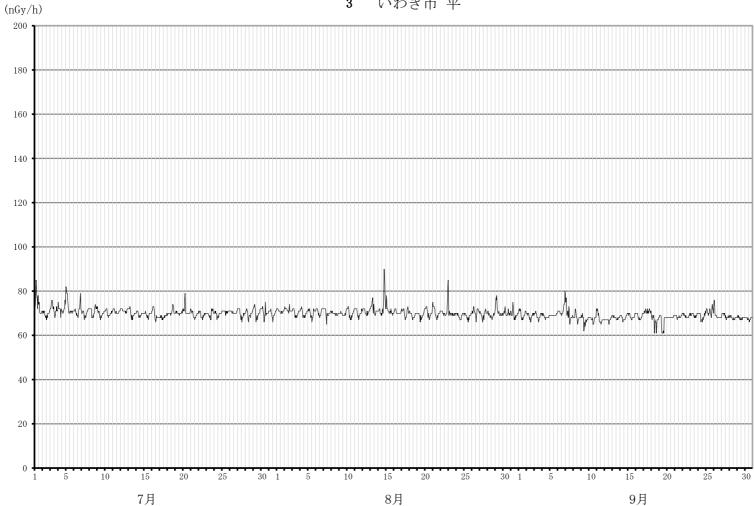




低線量率(NaI)







低線量率(NaI)